

設 計 書

工事名称 松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事

工事場所 松戸市上本郷4 4 3 4 番地

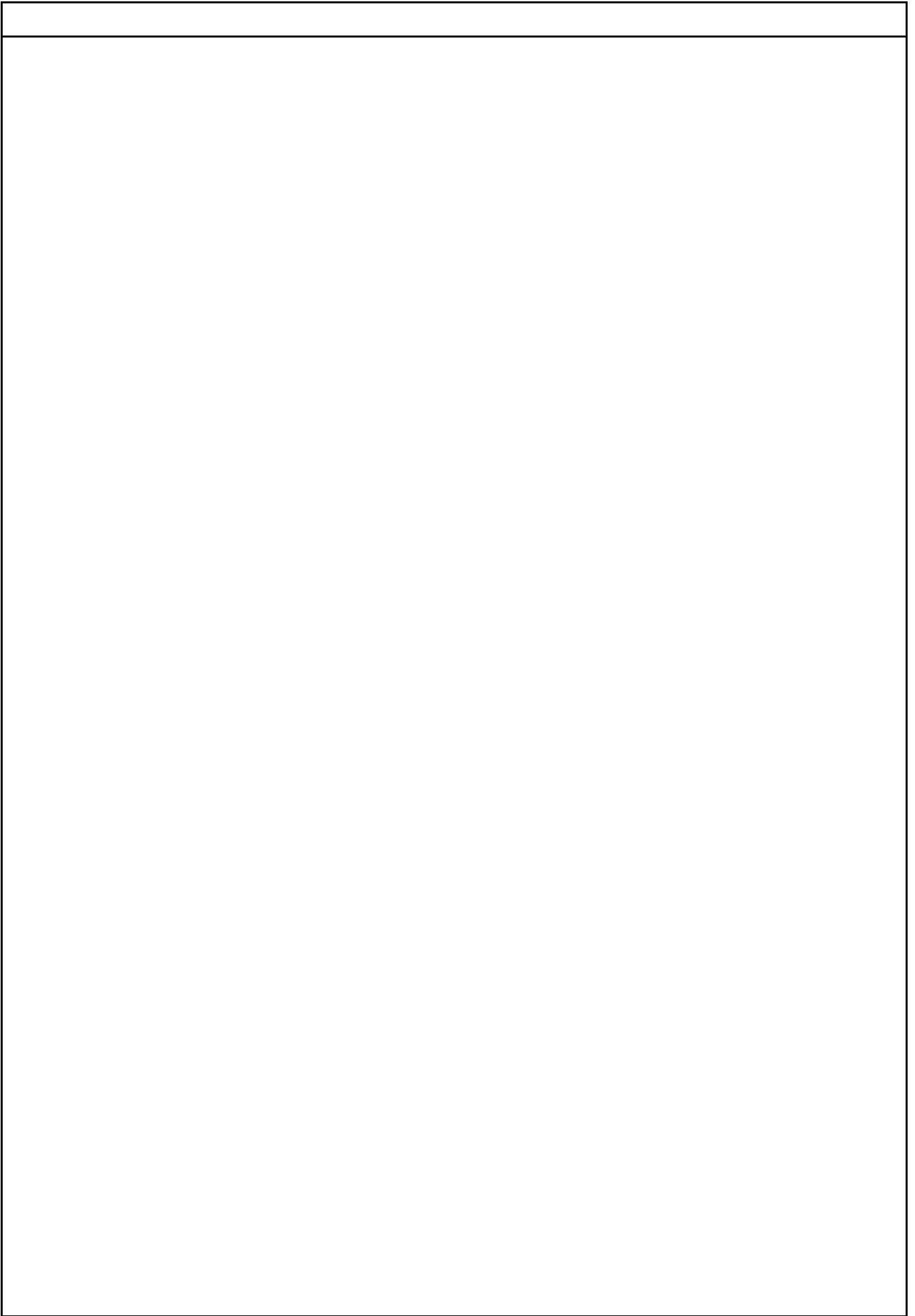
工 期 自 令和 8年 月 日
至 令和 9年 3月19日

設計年月日 令和 8年 4月

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考



松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
外構改修	撤去	1	式		
外構改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		

松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事 内装改修				改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(天井)						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし ③300 イサト別途	222	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり ③360 イサト別途	416	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 150× 150mm程度 ボート等切込み共	100	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 315× 315mm程度 ボート等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 400× 400mm程度 ボート等切込み共	10	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450× 450mm程度 ボート等切込み共	26	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 600× 600mm程度 ボート等切込み共	36	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 900× 900mm程度 ボート等切込み共	13	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1140× 618mm程度 ボート等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1245× 600mm程度 ボート等切込み共	37	か所			
天井 せっこうボート 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 突付け	8.7	m ²			
天井 化粧 せっこうボート 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライチ 突付け	222	m ²			
天井 ガラスパネル 張り	t25	158	m ²			
天井 ガラスパネル 張り	t25+下地石膏ボード t9.5	55.1	m ²			
天井 ロックール 化粧吸音板張り (DR)	t12.0+石膏ボード t9.0	34.8	m ²			
天井 ロックール 化粧吸音板張り (DR)	t12.0+石膏ボード t9.5	317	m ²			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	26	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 600角	23	か所			
天井廻縁	塩化ビニル製	434	m			

松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事 外構改修				改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B フェンス	H1800 基礎10か所 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO Series同等	13.3	m			
B フェンス扉	W1000×H1800 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO門扉(片開)同等	1	か所			
C フェンス	H1800 基礎6か所 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO Series同等	6.3	m			
C フェンス扉	W1000×H1800 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO門扉(片開)同等	1	か所			
D フェンス	H1200 基礎5か所 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO Series同等	2.1	m			
D フェンス扉	W1000×H1200 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO門扉(片開)同等	1	か所			
E フェンス	H1800 基礎5か所 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO Series同等	4	m			
E フェンス扉	W1000×H1800 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO門扉(片開)同等	1	か所			
F フェンス	H1800 基礎6か所 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO Series同等	6.4	m			
F フェンス扉	W1000×H1800 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO門扉(片開)同等	1	か所			
G フェンス	H1800 基礎6か所 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO Series同等	3.7	m			
G フェンス扉	W1000×H1800 積水樹脂株式会社: メッシュフェンスGO門扉(片開)同等	1	か所			
A 機械基礎	1140×520×H300 土工・地業・躯体共	1	式			別紙 00-0008
B 機械基礎	2160×510×2/4550×1570×H300 土工・地業・躯体共	1	式			別紙 00-0009
C 機械基礎	3960×1570×H300 土工・地業・躯体共	1	式			別紙 00-0010
D 機械基礎	1050×500×H300 土工・地業・躯体共	1	式			別紙 00-0011
E 機械基礎	1950×1560×H300 土工・地業・躯体共	1	式			別紙 00-0012
F 機械基礎	1140×480/3210×1570×H300 土工・地業・躯体共	1	式			別紙 00-0013
G 機械基礎	1950×1570×H300 土工・地業・躯体共	1	式			別紙 00-0014
計						

松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事 発生材処理				運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込	コンクリート類	0.1	m3			
発生材積込	ガラス及び陶磁器くず	0.01	m3			
発生材積込	混合廃棄物	6.2	m3			
発生材積込	金属くず	1.5	m3			
発生材積込	石膏ボード類	9.6	m3			
発生材積込	廃プラスチック	0.4	m3			
発生材積込	生木	5	m3			
発生材積込	アスベスト含有建材	0.6	m3			
小計						
発生材運搬	運搬距離22.5km コンクリート類	0.1	m3			
発生材運搬	運搬距離22.5km ガラス及び陶磁器くず	0.01	m3			
発生材運搬	運搬距離22.5km 混合廃棄物	6.2	m3			
発生材運搬	運搬距離22.5km 金属くず	1.5	m3			
発生材運搬	運搬距離22.5km 石膏ボード類	9.6	m3			
発生材運搬	運搬距離22.5km 廃プラスチック	0.4	m3			
発生材運搬	運搬距離22.5km 生木	5	m3			
発生材運搬	運搬距離22.5km アスベスト含有建材	0.6	m3			
小計						
計						

松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(内部改修)	複合改修	222	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生(外壁改修)		9	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	796	m ²			
養生(内部改修)	搬出入路部分	1,191	m ²			
養生	合板+ビニールシート 搬入通路	1,774	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け (外壁改修)		9	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	796	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	2,965	m ²			
計						

松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮尺
	【意匠図】	
A-00	表紙・図面リスト	No Scale
A-01	特記仕様書(1)	No Scale
A-02	特記仕様書(2)	No Scale
A-03	特記仕様書(3)	No Scale
A-04	特記仕様書(4)	No Scale
A-05	特記仕様書(5)	No Scale
A-06	特記仕様書(6)	No Scale
A-07	特記仕様書(7)	No Scale
A-08	特記仕様書(8)	No Scale
A-09	案内図・配置図	1/2000・5000
A-10	【改修前・改修後】B 1階平面図	1/300
A-11	【改修前・改修後】1階平面図	1/300
A-12	【改修前・改修後】2階平面図	1/300
A-13	【改修前・改修後】3階平面図	1/300
A-14	【改修前・改修後】4階平面図	1/300
A-15	【改修前】建具キープラン	1/600
A-16	【改修後】建具キープラン	1/600
A-17	建具表-1	1/100
A-18	建具表-2	1/100
A-19	建具表-3	1/100
A-20	建具表-4	1/100
A-21	【改修前・改修後】B 1階天井図	1/300
A-22	【改修前・改修後】1階天井図	1/300
A-23	【改修前・改修後】2階天井図	1/300
A-24	【改修前・改修後】3階天井図	1/300
A-25	【改修前・改修後】4階天井図	1/300
A-26	雑詳細図-1	1/40・60
A-27	雑詳細図-2	1/4・40・200
A-28	(参考)全体仮設計画図	1/100
A-29	(参考)各階仮設計画図	1/300

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	表紙・図面リスト		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-00
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

② 仮設工事

○1 騒音 粉じんの対策 [2.1.3]

○2 足場その他 [2.2.1]

○3 既存部分の養生 [2.3.1]

○4 仮設間仕切り [2.3.2][表2.3.1]

○5 監督職員事務所 [2.4.1]

○6 監督職員事務所の備品等

○7 工事用水

○8 工事用電力

○9 仮囲い等

○10 仮設道路

○5 アスファルト防水

屋根保護防水(既存) [3.3.2~5][表3.3.3~10]

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	G	絶縁用シート
OP2A	OA-1 OA-2 OA-3				○0.15mm以上又は70g/m ² 程度
OP1B	OB-1 OB-2				○70g/m ² 程度
OP2A1	OA1-1 OA1-2 OA1-3	(種類)			○70g/m ² 程度
OP1B1	OB1-1 OB1-2	○JIS A 9521による押出法 [※] リソフォーム断熱材3種bA(ス/層付き)(厚さ)(mm)			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

○改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○

材料による区分 ○R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

○改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○

材料による区分 ○R種

厚さ()mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ○水 80mm以上 ○

床タイル張り ○水 60mm以上 ○

立上り部の保護工法

○乾式保護材(品質、性能、試験方法は建築材料品質性能表による)

○コンクリート押入

○モルタル押入(屋内)

○れんが押入 (○JIS R 1250 ○)

屋根露出防水(既存)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
OM4C	OC-1 OC-2 OC-3 OC-4				○アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	○適用する	
OM3D OP0D	OD-1 OD-2				○アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OP0D1 OM3D1 OM4D1	OD1-1 OD1-2	改修特記仕様書3.3.2(9)			○アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

○改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○

材料による区分 ○R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

○改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○

材料による区分 ○R種

厚さ()mm以上

絶縁断熱工法の場合のルーフレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじみ位置

○図示

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ○アスファルトルーフィング類の製造所の指定

設置数量 ○アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ○個

屋内防水

防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所
OP1E	OE-1	
OP2E	OE-2	

保護層 ○設ける(○図示 ○)

○設けない

○E-1の工程3を行う部位

○貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ○

立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法

○アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度 ○

屋上排水溝 ○図示 ○

○6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2~4][表3.4.1~3]

屋根露出防水(既存)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
OM4AS	OAS-T1 OAS-T2 OAS-J2				○改質アスファルトの製造所の仕様	○適用する	
OM3AS	OAS-T3 OAS-T4 OAS-J1				○改質アスファルトの製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OP0AS	OAS-T3 OAS-T4 OAS-J1 OAS-J3				○改質アスファルトの製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OM3A SI	OAS1-T1	改修特記仕様書3.4.2(3)			○改質アスファルトの製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OM4A SI	OAS1-J1	(?)(種類)			○改質アスファルトの製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OP0A SI	OAS1	(厚さ)(mm)			○改質アスファルトの製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

○改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○

材料による区分 ○R種

厚さ()mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

○改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○

材料による区分 ○R種

厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

○改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ

用途による区分 ○

材料による区分 ○R種

厚さ()mm以上

立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法

○アルミニウム製 L・35×15×2.0mm程度 ○

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ○改質アスファルトシートの製造所の指定

設置数量 ○改質アスファルトシートの製造所の指定 ○個

絶縁断熱工法の防湿用シート ○設置する ○設置しない

○7 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~4][表3.5.1~3]

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
OS-S	OS-F1 OS-F2				○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-M1 OS-M2				○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-F1 OS-F2	改修特記仕様書3.5.2(3)(I)(b)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-M1 OS-M2	(種類)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-F1 OS-F2	(厚さ)(mm)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-M1 OS-M2	改修特記仕様書3.5.2(3)(I)(a)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-F1 OS-F2	(種類)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-M1 OS-M2	(厚さ)(mm)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ○非歩行仕様 ○軽歩行仕様

SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ○設置する ○設置しない

○8 塗膜防水 [3.6.2~4][表3.6.1~3]

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
OP0X	OX-1 OX-2 OX-1H OX-2H OX-2		○主材料の製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OL4X	OX-1 OX-2 OX-1H OX-2H OX-2		○主材料の製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない

ワレタンゴム系塗膜防水-X-1の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ○主材料の製造所の仕様

設置数量 ○主材料の製造所の仕様 ○個

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	工数及び各工程の使用量	保護層
OP1Y	OY-2		○主材料の製造所の仕様	○設ける ○設けない
OP2Y	OY-2		○主材料の製造所の仕様	○設ける ○設けない

○9 シーリング [3.1.4][3.7.2~8]

シーリング改修工法の種類

○シーリング充填工法

○シーリング再充填工法

○拡張シーリング再充填工法

○ブリッジ工法

○ボンドブレード張り ○適用する ○適用しない

○エッジング材張り ○適用する ○適用しない

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上を行わない施工箇所 ○図示 ○用

シーリング材の目寸法 ○図示 ○

接着性試験 ○簡易接着性試験 ○引張接着性試験

○10 保証年数

○アスファルト防水 10年

○合成高分子系ルーフィングシート防水 ○10年 ○15年

○塗膜防水 10年

○受注者は、防水施工業者及び材料メーカーと連名で年保証する。

3 防水改修工事

○1 施工数量調査 [1.6.2.3]

○2 降雨等に対する養生方法(とい共) [3.1.3]

○3 既存防水の処理 [3.1.4][3.2.3、4、6]

○4 既存下地の処理 [3.2.6]

屋内防水

防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所
OP1E	OE-1	
OP2E	OE-2	

保護層 ○設ける(○図示 ○)

○設けない

○E-1の工程3を行う部位

○貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ○

立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法

○アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度 ○

屋上排水溝 ○図示 ○

○6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2~4][表3.4.1~3]

屋根露出防水(既存)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	G	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
OS-S	OS-F1 OS-F2				○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-M1 OS-M2				○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-F1 OS-F2	改修特記仕様書3.5.2(3)(I)(b)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-M1 OS-M2	(種類)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-F1 OS-F2	(厚さ)(mm)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-M1 OS-M2	改修特記仕様書3.5.2(3)(I)(a)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-F1 OS-F2	(種類)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OS-S	OS-M1 OS-M2	(厚さ)(mm)			○ルーフィングシート製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ○非歩行仕様 ○軽歩行仕様

SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ○設置する ○設置しない

○8 塗膜防水 [3.6.2~4][表3.6.1~3]

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
OP0X	OX-1 OX-2 OX-1H OX-2H OX-2		○主材料の製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない
OL4X	OX-1 OX-2 OX-1H OX-2H OX-2		○主材料の製造所の仕様	○適用する	脱気装置 ○設ける ○設けない

ワレタンゴム系塗膜防水-X-1の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ○主材料の製造所の仕様

設置数量 ○主材料の製造所の仕様 ○個

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	工数及び各工程の使用量	保護層
OP1Y	OY-2		○主材料の製造所の仕様	○設ける ○設けない
OP2Y	OY-2		○主材料の製造所の仕様	○設ける ○設けない

○9 シーリング [3.1.4][3.7.2~8]

シーリング改修工法の種類

○シーリング充填工法

○シーリング再充填工法

○拡張シーリング再充填工法

○ブリッジ工法

○ボンドブレード張り ○適用する ○適用しない

○エッジング材張り ○適用する ○適用しない

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上を行わない施工箇所 ○図示 ○用

シーリング材の目寸法 ○図示 ○

接着性試験 ○簡易接着性試験 ○引張接着性試験

○10 保証年数

○アスファルト防水 10年

○合成高分子系ルーフィングシート防水 ○10年 ○15年

○塗膜防水 10年

○受注者は、防水施工業者及び材料メーカーと連名で年保証する。

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事
図面名	改修工事特記仕様書(2)
作成年月日	令和8年1月20日 変更年月日
縮尺	No Scale 図面番号 A-02
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

3 防水改修工事
O11 とい
O12 アルミニウム製 笠木
3-2 屋根改修工事
O1 長尺金属板葺
O2 折板葺
4 外壁改修工事
O1 施工数量調査
4-1 外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁

O2 欠損部改修工法
O1 既存モルタル塗りの撤去
O2 ひび割れ部改修工法
O3 欠損部改修工法
O4 浮き部改修工法
O1 既存タイル張りの撤去
O2 タイルの形状、寸法等
O1 既存タイル張りの撤去
O2 タイルの形状、寸法等

O3 ひび割れ部改修工法
O4 欠損部改修工法
O5 浮き部改修工法
O6 目地改修工法

4-4 外壁改修工事
O1 既存塗膜等の除去及び下地処理
O2 下地調整塗材
O3 仕上げ塗材仕上げ
O4 マスチック塗材塗り
O5 外壁用塗膜防水材塗り

Table with columns: 工法, 処理範囲, 下地処理 (下地のひび割れ部等の補修)

Table with columns: 種類 (呼び名), 防火材料, 仕上げの形状及び工法等

Table with columns: 種類 (呼び名), 防火材料, 仕上げの形状及び工法等

Table with columns: 種類 (呼び名), 防火材料, 仕上げの形状及び工法等

Table with columns: 工事名, 図面名, 作成年月日, 縮尺, 設計

5 建具改修工事

○1 改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
○アルミニウム製建具	○	○	○建具表による ○
○樹脂製建具	○	○	○建具表による ○
○鋼製建具	○	○	○建具表による ○
○外部	○	○	○建具表による ○
○内部	○	○	○建具表による ○
○鋼製軽量建具	○	○	○建具表による ○
○ステンレス製建具	○	○	○建具表による ○
○木製建具	○	○	○建具表による ○

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ○図示 ○
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ○図示 ○
建具周囲のシーリング 改修標準仕様書3章7節による

○2 防火戸 [5.1.4]

防火戸の指定
○指定する(適用箇所 ○建具表による ○) ○指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
○連動させる(○建具表による ○) ○連動しない

○3 見本の製作等 [5.1.5]

建具見本の製作 ○行う(建具符号:)
○行わない
建具見本作製の目的等()

特殊な建具の仮組 ○行う(建具符号:)
○行わない

○4 防犯建物部品 [5.1.7]

○適用する(○建具表による ○)
○適用しない

○5 アルミニウム製建具 [5.2.2-5][表5.2.1]

性能値等
耐風圧性等級 ○ (建具符号: ○建具表による ○)
気密性等級 ○ (建具符号: ○建具表による ○)
水密性等級 ○ (建具符号: ○建具表による ○)

外部に面する建具の種類	種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
○A種	S-4	A-3	W-4	○図示	○
○B種	S-5			○図示	○
○C種	S-6	A-4	W-5	○図示	○

○防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ○建具表による ○)
○断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (建具符号: ○建具表による ○)

○枠の見込み寸法 ○建具表による ○

耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○耐震ドア 面内変形追随性の等級(OD-1: 1/300 OD-2: 1/120 OD-3: 1/100) (建具符号: ○建具表による ○)

重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度(K_h) ○1.0 ○
設計用鉛直震度(K_v) ○0.5 ○
(建具符号: ○建具表による ○)

材料
アルミニウム材 改修標準仕様書5.2.3(1)による
ステンレス鋼板 ○SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ○
ステンレス製のくつずりの仕上げ ○HL ○

形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具 種別(改修標準仕様書表5.2.2)
○BB-1 ○BB-2(着色 ○標準色 ○特注色)
屋内の建具 種別(改修標準仕様書表5.2.2)
○BC-1 ○BC-2(着色 ○標準色 ○特注色)
結露水の処理方法 ○水貯め式 ○排水式

工法
水切り板、ぜん板 ○図示 ○

○6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

種類	材種	線径	網目
○防虫網	○合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス(SUS316)製	○0.25mm以上 ○	○16~18メッシュ ○
○防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

○7 樹脂製建具 [5.3.2-5]

性能値等
耐風圧性等級 ○ (建具符号: ○建具表による ○)
気密性等級 ○ (建具符号: ○建具表による ○)
水密性等級 ○ (建具符号: ○建具表による ○)

外部に面する建具の種類	種別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
○A種	S-4	A-4	W-4	○図示	○
○B種	S-5			○図示	○
○C種	S-6		W-5	○図示	○

○防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級(OT-1 OT-2) (建具符号: ○建具表による ○)
○断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級(○H-4 ○H-5 ○H-6 ○H-7 ○H-8) (建具符号: ○建具表による ○)

外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ○
枠の見込み寸法 ○建具表による ○

材料
樹脂形状 改修標準仕様書5.3.3(1)による
ガラス ○複層ガラス ○
ステンレス製のくつずりの仕上げ ○HL ○

形状及び仕上げ
表面色 ○標準色 ○特注色
工法
水切り板、ぜん板 ○図示 ○

○8 鋼製建具 [5.4.2-6][表5.4.2、5]

性能値等
簡易気密型ドアセット ○適用する(建具符号: ○建具表による ○)
○適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 OS-4 (建具符号: ○建具表による ○)
OS-5 (建具符号: ○建具表による ○)
OS-6 (建具符号: ○建具表による ○)
○防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ○建具表による ○)
○断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (建具符号: ○建具表による ○)

耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○耐震ドア 面内変形追随性の等級(OD-1: 1/300 OD-2: 1/120 OD-3: 1/100) (建具符号: ○建具表による ○)

重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度(K_h) ○1.0 ○
設計用鉛直震度(K_v) ○0.5 ○
(建具符号: ○建具表による ○)

材料
鋼板 改修標準仕様書5.4.3(1)による
ステンレス鋼板 ○SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ○
ステンレス製のくつずりの仕上げ ○HL ○

形状及び仕上げ
鋼板の厚さ ○改修標準仕様書5.4.2による ○mm(使用箇所:)
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ○建具表による ○

○9 鋼製軽量建具 [5.5.2-6]

性能値等
簡易気密型ドアセット ○適用する(建具符号: ○建具表による ○)
○適用しない
○防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ○建具表による ○)
○断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (建具符号: ○建具表による ○)

耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○耐震ドア 面内変形追随性の等級(OD-1: 1/300 OD-2: 1/120 OD-3: 1/100) (建具符号: ○建具表による ○)

重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度(K_h) ○1.0 ○
設計用鉛直震度(K_v) ○0.5 ○
(建具符号: ○建具表による ○)

材料
鋼板 ○亜鉛めっき鋼板 ○ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ○ステンレス鋼板
ステンレス鋼板 ○SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ○
ステンレス製のくつずりの仕上げ ○HL ○
召合せ、縦小包み板の材質 ○鋼板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム合金

形状及び仕上げ
鋼板の厚さ ○改修標準仕様書5.5.1による ○mm(使用箇所:)
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ○建具表による ○

○10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2-5]

性能値等
簡易気密型ドアセット ○適用する(建具符号: ○建具表による ○)
○適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 OS-4 (建具符号: ○建具表による ○)
OS-5 (建具符号: ○建具表による ○)
OS-6 (建具符号: ○建具表による ○)
○防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級() (建具符号: ○建具表による ○)
○断熱ドア、断熱サッシ [G] 断熱性の等級() (建具符号: ○建具表による ○)

耐震性能
RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉
○耐震ドア 面内変形追随性の等級(OD-1: 1/300 OD-2: 1/120 OD-3: 1/100) (建具符号: ○建具表による ○)

重量がある扉
以下の設計用震度の地震力及び層間変形角に対して、脱落しないものとする。
なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。
設計用水平震度(K_h) ○1.0 ○
設計用鉛直震度(K_v) ○0.5 ○
(建具符号: ○建具表による ○)

材料
ステンレス鋼板 ○SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ○
ステンレス製のくつずりの仕上げ ○HL ○

形状及び仕上げ
表面仕上げ ○HL ○鏡面仕上げ ○
ステンレス製のくつずりの仕上げ ○HL程度 ○No.2B程度

工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ○普通曲げ ○角出し曲げ

○11 木製建具 [5.7.2-4][表5.7.5]

建具材の加工、組立時の含水率 ○A種 ○
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
○F
○フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
○改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による ○

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
○普通合板 [G]	表面の樹種 ○ 板面の品質(○広葉樹1等 ○) 接着の程度(○1類 ○2類)	
○天然木化粧合板 [G]	樹種名() 接着の程度(○1類 ○2類)	
○特殊加工化粧合板 [G]	化粧加工の方法 ○プリント ○ポリエステル化粧合板 ○メラミン化粧合板 ○ 接着の程度(○1類 ○2類)	
○MDF [G]		

表面材の厚さ ○改修標準仕様書5.7.6による ○
引戸の召合せがまちのいんろう付きの適用 ○適用しない ○適用する

○かまち戸
かまち樹種() 鏡板樹種()
見込み寸法 ○36mm ○建具表による ○
○ふすま
張りの種別(○型 ○型)
上張り(押入等の裏側以外) ○鳥の子 ○新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ ○塗り縁 ○生地縁(紫地) ○生地縁(フランクリヤー塗装)
見込み寸法 ○19.5mm ○建具表による ○

○戸ぶすま
表面材の仕上 ○建具表による ○
見込み寸法 ○30mm ○建具表による ○

○紙張り障子
見込み寸法 ○30mm ○建具表による ○
枠、くつずりの材料 ○建具表による ○

○12 建具用金物 [5.8.2、3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
○改修標準仕様書5.8.1により適用は建具表による ○
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
○改修標準仕様書5.8.2による
○建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
○改修標準仕様書5.8.3による
○建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
○改修標準仕様書5.8.4による
○建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
○改修標準仕様書5.8.5による
○建具表による

錠前類
シリンダ錠及びシリンダ本錠り錠(品質 性能、試験方法は別表による)
クローザ錠(品質 性能、試験方法は別表による)

○13 鍵 [5.8.4]

マスターキー ○製作する ○製作しない ○既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数 ○各室3本1組(室名札付き) ○
鍵箱 ○無し ○有り

○14 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3][表5.9.4]

引き戸用検出装置の種類及び必要性項目
○建具表による ○
○
タッチスイッチの種類
○無線式タッチスイッチ
○光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
○次形押しボタンスイッチ
○非接触スイッチ
凍結防止装置 ○行う ○行わない

性能値等
○改修標準仕様書5.10.1による
○以下による
手動開き力()
手動閉じ力()
閉じ速度の調整()
制動区間()
開閉繰返し()
耐衝撃性()

○15 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.2、3]

性能値等
○改修標準仕様書5.10.1による
○以下による
手動開き力()
手動閉じ力()
閉じ速度の調整()
制動区間()
開閉繰返し()
耐衝撃性()

○16 重量シャッター [5.11.2、3]

シャッターの種類 ○管理用シャッター
○外壁用防火シャッター
○屋内用防火シャッター
○防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度() Pa
開閉方式の種類 ○電動式(手動併用) ○手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
(設置箇所 ○建具表による ○)
電動式シャッターの障害物感知装置
(設置箇所 ○建具表による ○)
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
(設置箇所 ○建具表による ○)
管理用シャッターのシャッターケース ○設ける ○設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ○JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
○JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 ○Z12又はF12 ○
ガイドレール、まくさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチ
ボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板 ○SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ○

○17 軽量シャッター [5.12.2-4]

開閉方式の種類 ○手動式 ○電動式(手動併用)
耐風圧強度 () Pa
安全装置
電動式シャッターの障害物感知装置
(設置箇所 ○建具表による ○)
スラットの材質の種類
○JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量(○Z06又はF06 ○)
○JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量(○AZ90 ○)
スラットの形状 ○インターロック型 ○オーバーラッピング型

○18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
○スチールタイプ	○S0	○バランス式	○スタンダード形	○溶融亜鉛めっき鋼板
○アルミニウムタイプ	○S75	○チェーン式	○オーバーヘッド形	○ステンレス鋼板
○ファイバーグラスタイプ	○S100 ○S125	○電動式	○ローリフト形 ○バーチカル形	

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
(設置箇所 ○建具表による ○)

○19 ガラス [5.14.2-4]

適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組み合わせは建具表及び図面による。
○フロート板ガラス
フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による ○
○型板ガラス
型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による ○
○挿入板ガラス及び挿入板ガラス
網又は線の状態、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による ○
○合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ○建具表による ○
形状による種類 ○平面合わせガラス ○曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ○類 ○-1類 ○-2類 ○類
○強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ○建具表による ○
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ○類 ○類
○熱線吸収ガラス
板ガラスの種類及び厚さによる種類 ○建具表による ○
性能による種類 ○1種 ○2種
○複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ、並びに複層ガラスの厚さ ○建具表による ○
断熱性による区分 ○T1 ○T2 ○T3 ○T4
○T5 ○T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ○G ○S
封入気体の種類 ○空気 ○アルゴン
○熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ○建具表による ○
日射熱遮へい性による区分 ○1種 ○2種 ○3種
耐久性による区分 ○A種 ○B種
(日射熱遮へい性が2種の場合)
○強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ○建具表による ○

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事
図面名	改修工事特仕仕様書(4)
作成年月日	令和8年1月20日 変更年月日
縮尺	No Scale 図面番号 A-04
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

⑤ 建具改修工事

②0 ガラスブロック [5.14.5]

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
○160×160	○95				
○200×200	○95				

②1 ガラス用フィルム

種類	記号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
○日射調整フィルム [G]	○S C - 1	S C - 2	
○低放射フィルム	○L E		
○衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	G I - 1	○G I - 2	
○相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	○G D - 1	○G D - 1	
○ガラス貫通防止フィルム	○S F		

⑥ 内装改修工事

○1 改修範囲 [6.1.3]

○2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

○3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

○4 施工一般 [6.5.2]

○5 製材 [G] [6.5.2]

○JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		○2級	○A種 ○B種		
		○2級	○A種 ○B種		
		○2級	○A種 ○B種		

○JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え係り面	○上小節	○A種 ○B種			
見え係り面以外	○小節以上	○A種 ○B種			

○JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		○1級	○10%以下		
		○1級	○10%以下		
		○1級	○10%以下		
		○1級	○10%以下		

○JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			○適用する ○適用しない	○A種 ○B種	
			○適用する ○適用しない	○A種 ○B種	

○6 造作用修成材 [G] [6.5.2]

○「集材材の日本農林規格」による造作用修成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					○1等 ○2等	

○「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用修成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					○1等 ○2等	

○「集材材の日本農林規格」以外の造作用修成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				○15%以下	

○「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用修成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					○15%以下	

○JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [G] [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				○適用する ○適用しない	

○JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			○14%以下	○適用する ○適用しない	

○JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用

○「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	○5.5		○1類 ○2類	○広葉樹 ○針葉樹	○2等以上 ○1等	○適用する ○適用しない

○「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	○2級以上 ○1級		○1類 ○2類	○C-0 ○C-1	○12	○適用する ○適用しない		

○「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			○1類 ○2類	○適用する ○適用しない	

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	化粧加工方法	防虫処理の適用
			○1類 ○2類		○適用する ○適用しない

○パーティクルボード [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	○15		○13タイプ	○OP又はM	

○JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

○MDF [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

○9 接合具等 [6.5.3]

造作材の化粧面の釘打ち

○隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ○つばし頭釘打ち ○釘頭現し

諸金物

○かすがい、座金、箱金物、短冊金物

(改修標準仕様書表6.5.3-5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度の亜鉛めっき)

○ (形状: _____ 寸法: _____ 材質: _____)

○10 接着剤 [6.5.3. 4]

接着剤のホルムアルデヒド放散量

○F _____

○11 防霉・防蟻処理 [6.5.5]

薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	○K 2 ○K 3 ○K 4
	○K 2 ○K 3 ○K 4
	○K 2 ○K 3 ○K 4

薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	○薬剤の製造所の仕様による	○JIS K 1571に適合又は同等品

○12 内部間仕切組及び床組み [6.5.6]

○間仕切組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

○杉又は松 ○ _____

○床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

○杉又は松 ○ _____

○13 窓、出入口その他 [6.5.7]

○窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

○吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ○ _____

○14 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2-4] [表6.6.2]

野縁等の種類

屋外 (○25形 ○19形) 屋内 (○19形 ○25形)

野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔 ○表示 ○900mm

周辺部の端からの間隔 ○表示 ○150mm

野縁の間隔 ○表示 ○ _____

既存の埋込みインサート ○使用する ○使用しない

あと施工アンカーの施工後の確認試験

○行う

試験箇所数 ○屋内の場合、該当階において3箇所

○ () 箇所

引張試験にて確認する強度

○つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度

○ () N

○行わない

○つりボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法 ○表示 ○ _____

○天井のふところ高が3.0mを超える場合

補強方法 ○表示 ○ _____

○天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 ○表示 ○ _____ 補強方法 ○表示 ○ _____

○15 軽量鉄骨天井下地 [6.7.3. 4]

スタッド、ランナーの種類

○改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

○表示 ○ _____

スタッドの高さが5.0mを超える場合 ○表示 ○ _____

出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ○標準仕様書 6.7.4(5) による ○ _____

○16 ビニル床シート [G] [6.8.2. 3]

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
○F S (複層ビニル床シート)	○無地	○2.0	
○ _____	○マーブル柄	○ _____	
○ _____	○柄物	○ _____	

接合部の処理 ○熱溶接工法 ○ _____

○17 ビニル床タイル [G] [6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
○K T (30°ジョイント床タイル)	○無地	○300×300	○2.0	
	○柄物	○450×450	○3.0	
○T T (単層ビニル床タイル)	○無地	○300×300	○2.0	
	○柄物	○450×450	○ _____	
○F T (複層ビニル床タイル)	○無地	○300×300	○2.0	
	○柄物	○450×450	○2.5	
			○3.0	
○F O A (置敷きビニル床タイル)	○無地	○500×500	○4.0	
	○柄物	○ _____	○ _____	
○F O B (薄型置敷きビニル床タイル)	○無地	○ _____	○ _____	
	○柄物	○ _____	○ _____	

○18 特殊機能床材 [6.8.2]

	厚さ、寸法、形状	性能	種類
○帯電防止床シート	_____ (mm)		
○帯電防止床タイル	_____ x _____ (mm)		
○視覚障害者用床タイル	_____ (mm)		
○耐動荷重性床シート	_____ (mm)		
○防滑性床シート	_____ (mm)		
○防滑性床タイル	_____ x _____ (mm)		

視覚障害者用床タイル 突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による

○19 ビニル幅木 [6.8.2]

材質の種類 ○軟質 ○硬質

高さ (mm) ○60 ○75 ○100

厚さ (mm) ○1.5以上 ○ _____

○20 ゴム床タイル [6.8.2]

種類 ○単品 ○積層品

色柄 ()

厚さ (mm) ○3.0 ○4.5 ○6.0 ○9.0

寸法 (mm) () x ()

○21 カーペット敷き [G] [6.9.2. 3] [表6.9.1-2]

○織じゅうたん

織り方	バイル形状
○ウェストンカーペット	○カットバイル
○ダブルフェースカーペット	○ループバイル
○アキスミンスターカーペット	○カットノループ

色柄 ○模様のない無地 ○ _____

バイル系の織種等

○無地の織りじゅうたんの種別 (種別: ○A種 ○B種 ○C種)

○ _____

帯電性 ○適用する ○適用しない

織じゅうたんの接合方式 ○ヒートボンド工法 ○つづり縫い

下敷き材 ○反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ○ _____

○タフテッドカーペット

バイル形状	バィル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
○かハィル	○5-7	○全面接着工法	○適用する	
○ハィル	○4-6	○グリパ工法	○適用しない	
○かハィ併用	○ _____			

下敷き材 (グリパ工法の場合)

○反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ○ _____

○タイルカーペット

バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考
○ループバイル	○第一種		○500×500	○6.5	
	○第二種		○ _____	○ _____	
○カットバイル	○第一種		○500×500	○6.5	
	○第二種		○ _____	○ _____	
○カット、ループ併用	○第一種		○500×500	○6.5	
	○第二種		○ _____	○ _____	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量

○F _____

タイルカーペットの敷き方 平場 ○市松敷き ○模様流し ○ _____

階段部分 ○模様流し ○市松敷き ○ _____

見切り、押え金物 材質 () 種類 ()

形状等 ○表示 ○ _____

○22 合成樹脂塗床 [6.10.2. 3] [表6.10.5-7]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
○厚膜型塗床材			○平滑仕上げ
弾性外付樹脂系塗床			○防滑仕上げ
			○つや消し仕上げ
○厚膜型塗床材		○薄膜流しのべ工法	○平滑仕上げ
I [※] 杉樹脂系塗床		○厚膜流しのべ工法	○防滑仕上げ
		○樹脂珪砂工法	
○薄膜型塗床材 (I [※] 杉樹脂系塗床)			○平滑仕上げ
○70 [※] 樹脂塗床 (防塵塗料塗り)		○製造所の指定による	表面仕上げ 平滑 滑溜 ○水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ○F _____

○23 フローリング張り [G] [6.11.2-6] [表6.11.1-4]

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等

○改修標準仕様書6.11.2(2)による ○ _____

各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量

○F _____

○単層フローリング (フローリングボード1等)

工法 ○釘止め工法 (○根太張り ○直張り)

○接着工法

樹種 ○なら ○ _____

間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

○単層フローリング (フローリングブロック1等)

樹種 ○ _____

厚さ (mm) ○ _____

大きさ ○ _____

間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

○複合フローリング

工法 ○釘留め工法 (○根太張り ○直張り)

○接着工法

樹種 ○なら ○ _____

種別 ○A種 ○B種 ○C種

間伐材等の適用 ○適用する ○適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材 ○合成樹脂発泡シート ○ _____

○現場塗装仕上げ

○ウレタン樹脂ニス塗り

○オイルステインの上、ワックス塗り

○生地のままワックス塗り

○24 畳敷き [6.12.2] [表6.12.1]

種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 (畳床: OKT- OKT- OKT- OKT-K OKT-N)

下地の種類 ○標準仕様書 表12.6.1による床組

○ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G])

○ _____

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳 (畳表: OC1 OC2)

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事
図面名	改修工事特記仕様書 (5)
作成年月日	令和8年1月20日 変更年月日
縮尺	No Scale 図面番号 A-05
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号
松戸市 街づくり部 建築保全課	

⑥ 内装改修工事

②5 せっこうボード
その他のボード
張り

[6.13.2、3] [表6.13.1]

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
○F ○
合板のホルムアルデヒド放散量
○改修標準仕様書6.13.2(2)(4)(a)-(d)のいずれか
○
接着剤のホルムアルデヒド放散量
○F ○
木毛セメント板 [G]
種類 厚さ(mm)、規格等
○硬質(HW) ○15 ○20 ○25 ○
○中質(MW) ○15 ○20 ○25 ○
○普通(NW) ○15 ○20 ○25 ○

木片セメント板 [G]
種類 厚さ(mm)、規格等
○硬質(HF) ○12 ○15 ○18 ○21 ○
○普通(NF) ○30 ○

繊維強化セメント板
種類 厚さ(mm)、規格等
○けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイプ2(無石棉) ○6 ○8
○化粧けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイプ2(無石棉) ○6 ○8
表面への化粧張り等の加工
○アクリル樹脂系接着剤 ○

火山性ガラス質複層板
種類 厚さ(mm)、規格等
○火山性ガラス質複層板 ○図示

繊維板 [G]
種類 厚さ(mm)、規格等
ハードボード
○スタンダードボード(無処理)
ハードボード
○テンボードボード(処理)
○メディアムデンシティ
ファイバーボード(MDF) [G]
○インシュレーションボード [G]
パーティクルボード [G]
種類 厚さ(mm)、規格等
○単板張りパーティクルボード ○無研磨板(VN) ○研磨板(VS)
○10 ○12 ○15 ○18
○化粧パーティクルボード ○単板カーボン(DV) ○ラミネートカーボン(DO)
○塗装(DC)
○10(難燃) ○12(難燃) ○

吸音材料
種類 厚さ(mm)、規格等
ロックウール化粧吸音板(DR)
フラットタイプ
(9(不燃) 12(不燃) ○)
凹凸タイプ
(○12(不燃) ○15(不燃) ○)
○ロックウール吸音板[®]1号 ○25 ○
グラスウール吸音板[®]32K 25(ダブル吹包) ○

せっこうボード製品
種類 厚さ(mm)、規格等
○せっこうボード(GB-R) ○12.5(不燃) ○15(不燃) 9.5(不燃)
○不燃積層せっこうボード(GB-NC) 9.5(不燃) ○化粧紙(下地張り用)
○化粧紙(トラバーチン模様)
○シーリングせっこうボード(GB-S) 12.5(不燃) ○準不燃
○強化せっこうボード(GB-F) ○12.5(不燃) ○15(不燃)
○せっこうラスボード(GB-L) 9.5
化粧せっこうボード(GB-D) ○木目 12.5(不燃) 幅440mm程度
模様(○柱目 ○板目)専用下地材有り
トラバーチン模様 9.5(準不燃)

合板 [G]
種類 厚さ(mm)、規格等
○普通合板 表面の樹種
生地、透明塗料塗り
(○70合板程度 ○)
不透明塗料塗り
(○しな合板程度 ○)
板面の品質 ○
厚さ(mm) ○図示 ○
防虫処理 ○行う ○行わない
○天然化粧合板 化粧板の樹種名 ○
厚さ(mm) ○図示 ○
防虫処理 ○行う ○行わない
○特殊加工化粧合板 化粧加工の方法(○オーバーレイ ○リット ○塗装)
表面性能()タイプ
厚さ(mm) ○図示 ○
防虫処理 ○行う ○行わない

化粧紙
○メラミン樹脂化粧紙板 JIS K 6903による(○1.2 ○)
○ポリエステル樹脂化粧紙板

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
○図示 ○
合板類の張付け ○A種 ○B種 ○
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
○仕上げ表による
突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類
突付け工法のエッジの種類 ○ベベルエッジ ○スクエアエッジ
目隠し工法のエッジの種類 ○ベベルエッジ ○スクエアエッジ
化粧加工の方法(○オーバーレイ ○プリント ○塗装 ○)

②6 壁紙張り

[6.14.2、3]

ホルムアルデヒド放散量
○F ○

施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備考
	紙	繊維	塩化ビニル	その他		
	○	○	○	○	○不燃○準不燃○難燃	
	○	○	○	○	○不燃○準不燃○難燃	
	○	○	○	○	○不燃○準不燃○難燃	
	○	○	○	○	○不燃○準不燃○難燃	
	○	○	○	○	○不燃○準不燃○難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別 ○B種 ○A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別 ○B種 ○A種
せっこうボード面及びその他の素地ごしらえの種別 ○B種 ○A種

[6.15.3-6] [表6.15.2]

モルタル ○現場調査材料 ○既調査材料()
既製目地材 ○設ける
施工箇所() 形状(○図示 ○)
○設けない
床目地 ○設ける
目地割り ○2m程度(最大目地間隔3m程度) ○
目地の種類 ○押し目地 ○
○設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の地下処理
○図示 ○

[6.16.2-4]

伸縮調整目地の位置 床タイル ○縦、横とも4mm以内と ○図示 ○
床タイル以外 ○図示 ○
伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修標準仕様書3章7節による
見本焼き ○行う(施工箇所:) ○行わない
試験張り ○行う(範囲、仕様等は図示による) ○行わない

○セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 [G]	吸水率に <u>うわ</u> くよる区分				役物	色	耐薬害性	耐滑り性	備考
				類	類	類	類					
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	

施工範囲: 備考:
施工範囲: 備考:
施工範囲: 備考:
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調査モルタルの品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(1)4章
既調査モルタル(内装改修工事共通)による
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、
細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調査目地材の品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(2)6章
タイル張りによる
壁タイル張りの工法
内装タイル ○密着張り ○改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ○マスク張り ○モザイクタイル張り

○有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 [G]	吸水率に <u>うわ</u> くよる区分				役物	色	耐薬害性	耐滑り性	備考
				類	類	類	類					
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	
			[G]	○	○	○	○	○	○	○	○	

施工範囲: 備考:
施工範囲: 備考:
施工範囲: 備考:
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
○F ○

②9 セルフレバリング
材塗り

[6.17.2、3]

塗厚(mm)
○

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
	○重ね式	○500×500		○1.0G	○3000	○帯電防止床材	○防カバット
	○支柱	○		○0.6G	○5000	○	○
	調整式						

寸法精度
○標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)-(c)による
○以下による
パネルの長さの寸法精度()
パネルの平面形状(角度)の寸法精度()
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度()

帯電防止性能
○評価値(U) 0.6以上 ○評価値(U) 1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗(R) 1×10⁴
品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(2)6-2章フリーアクセスフロアによる

① フリーアクセス
フロア

(20.2.2)

材料種別

○ステンレス製 ○黄銅製押出型材 ○アルミニウム製押出型材 ○
形状
○タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ○タイヤレス型
端部の形状
○フラットエンドあり ○フラットエンドなし
寸法(幅)
○35mm程度 ○40mm程度 ○50mm程度
取付け工法
○接着工法 ○埋込み工法

⑧ 黒板及び
ホワイトボード [G]

(20.2.9)

区分 ○焼き付け ○
種類 ○銅製黒板 ○ほうろう黒板 ○
色 ○緑 ○
○ホワイトボード

取付け箇所()
寸法(mm) ○図示 ○
厚さ(mm) ○5 ○

(20.2.10)

⑨ 鏡

② 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式による種類	構成素材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性 (db/500Hz)	防火性能
	スリット	パネル			
○スタッド式(内蔵) ○スタッド式(露出) ○スタッドパネル式 ○パネル式			○ポリ樹脂焼付又は 77樹脂焼付 ○壁紙張り ○	○0 ○12 ○20 ○28 ○36	○不燃

パネル内に取付ける建具 ○あり(○図示 ○) ○なし
パネル内に取付け建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは
標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章8節による。
パネル材のホルムアルデヒド放散量
○F ○

(20.2.4)

走行方向	操作方法 による種類	パネル圧接 装置の 操作方法	総厚 さ(mm)	パネル表面材		遮音性 (db/500Hz)
				材質	仕上げ	
○平行方向 移動式 ○二方向 移動式	○手動式 ○電動式 ○部分 電動式	○プッシュ式 ○ハンドル式 ○		○銅板 ○	○焼付塗装 ○壁紙張り ○	○36未満 ○36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による
ハンガーレールの取付け下地の補強
○取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となる
ように補強する。
○図示
パネルをランナーに取り付ける部品
○ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
○
ハンガーレール及びランナー
○パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーで除した値に対して、
耐力及び変形量で使用上支障のないもの
品質、性能は建築材料等品質性能表(改修)(2)6-2章移動間仕切による
○

(20.2.5)

表面材の種類	脚部		ドアエッジ	
	種類	材質	形状	
○メラミン樹脂化粧紙板 ○ポリエステル樹脂化粧紙板 ○	○編木タイプ ○	○製造所の仕様による ○アルミニウム製 ○ステンレス製 ○表面材と同材	○標準 ○Rタイプ	

品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(2)6-2章トイレブスによる

(20.2.6)

施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	○塩化ビニル製 ○	○300×300	○7.0
	○磁器質タイル ○セラミック質タイル	○300×300	○
	○レジンコンクリート製 ○コンクリート製	○300×300	○
屋外	○磁器質タイル ○セラミック質タイル	○300×300	○
	○レジンコンクリート製 ○コンクリート製	○300×300	○

ブロックパターンは JIS T 9251 による

(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
○SU304 表面処理 ○HL程度 ○
○鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(○標準仕様書表14.2.2による種別()種)
○アルミニウム 表面処理(○標準仕様書表14.2.1による種別()種)
色合等 ○標準色() ○特注色()

手すりの張り部分

材料	表面仕上げ	直径(mm)	取付け箇所	備考
○集成材 (材種:)	○クリアラッカー ○	○30程度 ○35程度 ○45程度		
○ビニル製ハンドル		○30程度 ○35程度 ○45程度		

(20.2.7)

材料種別
○ステンレス製 ○黄銅製押出型材 ○アルミニウム製押出型材 ○
形状
○タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ○タイヤレス型
端部の形状
○フラットエンドあり ○フラットエンドなし
寸法(幅)
○35mm程度 ○40mm程度 ○50mm程度
取付け工法
○接着工法 ○埋込み工法

(20.2.9)

区分 ○焼き付け ○
種類 ○銅製黒板 ○ほうろう黒板 ○
色 ○緑 ○
○ホワイトボード

取付け箇所()
寸法(mm) ○図示 ○
厚さ(mm) ○5 ○

(20.2.10)

⑦ 階段滑り止め

(20.2.7)

材料種別
○ステンレス製 ○黄銅製押出型材 ○アルミニウム製押出型材 ○
形状
○タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ○タイヤレス型
端部の形状
○フラットエンドあり ○フラットエンドなし
寸法(幅)
○35mm程度 ○40mm程度 ○50mm程度
取付け工法
○接着工法 ○埋込み工法

(20.2.9)

区分 ○焼き付け ○
種類 ○銅製黒板 ○ほうろう黒板 ○
色 ○緑 ○
○ホワイトボード

取付け箇所()
寸法(mm) ○図示 ○
厚さ(mm) ○5 ○

(20.2.10)

⑧ 黒板及び
ホワイトボード [G]

(20.2.9)

区分 ○焼き付け ○
種類 ○銅製黒板 ○ほうろう黒板 ○
色 ○緑 ○
○ホワイトボード

取付け箇所()
寸法(mm) ○図示 ○
厚さ(mm) ○5 ○

(20.2.10)

⑨ 鏡

⑩ 表示

(20.2.11)

衝突防止表示
○設置場所 ○図示
形状、寸法(○30 ○)
材質 (○ステンレス製 ○塩ビシート)
○設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
○消防法に適合する市販品 ○
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、
取付け形式等(室内用図記号はJIS Z 8210による)
○図示

(20.2.12)

材質及び仕上げ
○SU304(スリット止め加工 ○あり ○なし)
○鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
(標準仕様書表14.2.2による種別(○種 ○種))

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス の材質	幅、高さ の取付箇所
○横形	○手動	○ギヤ式 ○コード式 ○操作棒式	○アルミニウム 合金製 [G]	○25 ○	○鋼製 ○	○図示 ○
○縦形	○手動	○2本操作棒式 ○1本操作棒式	○アルミスラット ○クロススラット	○80 ○100	○7mm 合金製 ○	○図示 ○

縦型ブラインドのスラットの材質
○アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
○クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工
※7mm幅繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする

(20.2.15)

操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅、高さ 取付箇所	品質等
○スプリング式 ○コード式 ○電動式	○ガラス繊維製 ○合成、天然繊維製	○製造所の 仕様	○図示 ○	○

スクリーンの仕様
消防法で定める防火性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する
場合は [G] とする

(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付 箇所	備考
○ツグム ○ダブム	○片引き ○引分け ○電動	○つまみひだ ○箱ひだ、片ひだ ○プレーンひだ		○図示 ○	

生地仕様
消防法で定める防火性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は
[G] とする
暗幕カーテンの両端、上部及びひだの重なり ○300mm以上 ○

(20.2.16)

材料による区分 ○アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材
○ステンレス製
強さによる区分 ○10-90 ○
仕上げ ○アルマイト ○
形状 ○角形 ○

(20.2.16)

カーテンレール
材料による区分 ○アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材
○ステンレス製
強さによる区分 ○10-90 ○
仕上げ ○アルマイト ○
形状 ○角形 ○

(20.2.16)

カーテンレール
材料による区分 ○アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材
○ステンレス製
強さによる区分 ○10-90 ○
仕上げ ○アルマイト ○
形状 ○角形 ○

(20.2.16)

ブラインド
ボックス及び
カーテンボックス
材質 ○集成材(仕上げ:)
○アルミニウム製 押し出し型材(市販品)
種別(標準仕様書表 14.2.1) ○BC-1種 ○BC-2種
色合い ○標準色() ○特注色()
○鋼製(仕上げ:)

(20.2.16)

天井点検口
材質 寸法 形式 外枠 内枠
○7mm2製 ○450×450 ○一般形 ○屋内外用 ○顔線タイプ ○顔線タイプ
○600×600 ○屋内用 ○目地タイプ ○目地タイプ
○
○気密形

品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(2)6-2章天井点検口による

(20.2.16)

床点検口
材質 寸法 形式 備考
○7mm2製 ○450×450 ○一般形 ○屋内外用 ○鍵付き
○7mm2製 ○600×600 ○密閉形 ○屋内用 ○

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。
品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表(改修)(2)6-2章床点検口による

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書(6)		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-06
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

○19 止水板
形状 ○差込式 ○据置式 ○壁張り式
施工箇所 ○図示 ○

○20 エクスパンションジョイント金物
材質 階区分 建築物間の別材厚さ(mm) 変位差(mm) 耐火性能 断熱性能 備考
○7A210製 階-階 100 (避難経路の床等) ○有り ○有り
○7A210製 階-階 150 (その他) ○無し ○無し
○7A210製 階-階 100 (避難経路の床等) ○有り ○有り
○7A210製 階-階 150 (その他) ○無し ○無し

外部に設置するものは、防水型とする。
エクスパンションジョイントカバーには、脱落防止措置を講ずる。

○21 くつふきマット
材質 受け枠 備考
○塩化ビニル又はゴム製 ○ステンレス鋼(SUS304)
○硬質アルミニウム合金製 ○硬質アルミニウム合金
○ステンレス鋼(SUS304)製 ○

○22 流し台ユニット
材種 寸法(mm) 備考
W D H
○流し台 ○1200 ○550 ○800 市販品
○1500 ○600 ○850 トラップ付き
○1800 ○650 天板ステンレス製
○コンロ台 ○600 ○550 ○620 市販品
○600 ○600 ○670 バックガード有り
○650 天板ステンレス製
○つり戸棚 ○1200 ○450 ○500 市販品
○900 ○700
○水切り ○1200 市販品
○900 ステンレス製
○600 ○1段式 ○

品質、性能
外観はJIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の既定による。
形状
○図示 ○

○23 網製書架及び物品棚
種類 規格等 JISによる種類
○鋼製書架 JIS S 1039 の規格による ○1種 ○2種 ○3種
○鋼製物品棚 ○4種 ○5種 ○6種

○24 屋内掲示板
枠の材質 ○アルミニウム製 ○
表面の材質 ○塩ビ発泡シート張り ○

○25 洗面カウンター
材種 ○メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) ○人工大理石
奥行き(mm) ○約450 ○約600

26 観覧席
メーカー コトブキシーティング株式会社
品番 BLM-1508
詳細図参照

○3 素地ごしらえ
[7.3.2-7] [表7.3.1-7]
下地面等 種別
木部 不透明塗料塗りの場合 ○A種 ○B種
透明塗料塗りの場合 ○B種 ○A種
鉄鋼面(DP以外) ○C種 ○A種 ○B種
鉄鋼面(DP) ○B種 ○A種 ○C種
亜鉛めっき鋼面 ○A種 ○B種
モルタル面及びせつこうプラスター面 ○B種 ○A種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ○B種 ○A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP) ○A種 ○B種
コンクリート面(DPのみ) ○B種 ○A種
せつこうボード面及び 目地: 埋目処理工法 ○A種 ○B種
その他ボード面 目地: 埋目処理工法以外 ○B種 ○A種

○4 錆止め塗料塗り
[7.4.2, 5] [表7.4.1-6]
錆止め塗料塗りの種別
素地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類
SOP 塗替え A種 ○C種 ○
(工程の種類) 新規見え掛り A種 ○A種 ○
鉄鋼面(表7.4.3) 新規見え隠れ A種 ○B種 ○
EP-G 塗替え ○B種 ○A種 ○
(工程の種類) 新規見え隠れ ○B種 ○A種 ○
は表7.4.3) 新規見え隠れ ○B種 ○A種 ○
DP 塗替え 7.4.2(1)(イ) ○A種(下地調整R A種)
(工程の種類) (b)による。 ○B種(下地調整R B種)
は表7.4.4) ○C種(下地調整R C種)
新規 7.4.2(1)(イ) ○A種
(a)による。

○5 塗装
[7.5.2-7.12.2] [表7.5.1-7.13.1]
塗装の種類 塗装面 工程 塗替え 新規
○合成樹脂調合ペイント 木部屋外 ○B種 ○ ○A種 ○
塗り(SOP) 木部屋内 ○B種 ○ ○B種 ○
塗料の種類 鉄鋼面 ○B種 ○ ○B種 ○A種
○1種 ○2種 亜鉛めっき鋼面(鋼製建具) ○A種 ○ ○B種 ○
(鋼製建具以外) ○B種 ○ ○B種 ○

○クリヤラッカー塗り(DL) ○B種 ○A種 ○B種 ○A種
○アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD) ○B種 ○A種 ○B種 ○A種
○耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面
上塗り等級()級
亜鉛めっき鋼面
上塗り等級()級
コンクリート面及び押出成形
セメント板面 ○A-1種 ○A-2種 ○A-1種 ○
○B-1種 ○B-2種 ○B-1種 ○
○C-1種 ○C-2種 ○C-1種 ○
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 木部屋内 ○B種 ○ ○B種 ○A種
屋外の鉄鋼面 ○B種 ○ ○B種 ○A種
屋外の亜鉛めっき面 ○A種 ○ ○A種 ○B種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ○B種 ○ ○B種 ○A種
○ウレタン樹脂ニス塗り(UC) ○B種 ○ ○B種 ○A種
○ステイン塗り ○ビグメントステイン塗り
○オイルステイン塗り(OS) ○
○木材保護塗料塗り(IP) ○B種 ○A種 ○B種 ○A種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)面、モルタル面、せつこうプラスター面、
せつこうボード面、その他ボード面の塗替えの場合のしめ止め
○B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシートとする
○
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め
○
○
○高反射率塗料塗り [G]
下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) ○RA種 ○RB種 ○RC種

工程 塗料その他 塗付量
規格番号 規格名称 種類 等級 (kg/m²)
塗料塗り JIS K 5675 屋根用高反射率塗料 2種 ○1級 塗料製造所の仕様
反射率塗料 ○2級 による
○3級

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
○適用しない
○適用する(着色剤:○溶剤系着色剤 ○油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色の適用
○適用する
○適用しない
オイルステイン塗りの工程等
○製造所の仕様による

除去処理対象物質 ○PCB ○六価クロム ○
除去対象物 ○
除去対象範囲 ○図示 ○
除去方法 ○
処分 ○
有害物質の取扱については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に
処理すること。

○6 有害物質の処理
除去処理対象物質 ○PCB ○六価クロム ○
除去対象物 ○
除去対象範囲 ○図示 ○
除去方法 ○
処分 ○
有害物質の取扱については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に
処理すること。

○1 石綿含有建材の除去工事
[9.1.1, 3-6]
○石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点
(各施工箇所ごと)
○測定1 処理作業前 処理作業室内 ○計 点
○測定2 調査対象室外部の付近 ○計 点
○測定3 処理作業中 処理作業室内 ○計 点
○測定4 排気装置の排出口 出口吹き出し
風速 1m/s以下の位置
○測定5 (処理作業室外の場合) ○計 点
○測定6 処理作業室内 ○計 点
○測定7 処理作業後(シフト発生中) 処理作業室内 ○計 点
○測定8 処理作業後(シフト発生後) 処理作業室内 ○計 点
○測定9 撤去後1週間以降) 調査対象室外部の付近 ○計 点

測定方法
○自動測定器による測定
測定名称 測定方法
○測定4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、
○測定5 繊維状粒子自動測定器(LIアルタイムファイバーモニター)等の粉じん
を迅速に測定できる機器を用いた測定

○JIS K 3850-1 に基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルタ 試料の吸引 試料の吸引
直径(mm) 流量(l/min) 時間(min)
○測定4 25 5 30
○測定5 ○
○測定 47 10 120
○測定 47 10 240
○測定 ○
○測定 ○

石綿含有建材の処理 [9.1.3-6]
○石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
除去方法 ○
○改修標準仕様書9.1.3(7)による ○
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
○湿潤化 ○固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
○埋立処分(管理型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
○石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
除去方法 ○破砕して除去 ○手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ○湿潤化 ○固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
○埋立処分(管理型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
○石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
除去した石綿含有成形板の処分
○石綿含有せつこうボード
○埋立処分(管理型最終処分場)
○石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
○埋立処分(安定型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
○石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
隔離養生(負圧不要)方法
○ビニールシート等による養生を行う ○
足場 ○図示 ○
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
○埋立処分(安定型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
○
○石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
着工前の試験施工 ○行う ○行わない
除去方法
○集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
○集じん装置併用手工具ケレン工法
○集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30-50MPa程度)
○集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)
○剥離剤併用超音波ケレン工法
○剥離剤併用手工具ケレン工法
○剥離剤併用高圧水洗工法(30-50MPa程度)
○剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上)
○超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用)
養生方法
○
石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
(1)剥離剤を使用する工法では、ジクロロメタン等の有害性の高い化学物質を
使用しない。
剥離剤使用量 0.6-1.0kg/m²
(2)水を使って除去する工事の場合には、未処理の廃水が流出・地下浸透しない
ようすべて回収しなければならない。回収した廃水は、凝集沈殿後に上澄み水
をろ過処理する等により、適切に処理した上で放流すること。

除去した石綿含有仕上塗材の処分
○埋め立て処分(安定型最終処分場)
○埋め立て処分(管理型最終処分場)
○中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示 ○

○2 断熱・防露改修工事 [9.3.2-4]
フェノールフォーム断熱材又は保温剤、接着剤のホルムアルデヒド放散量
○F ○
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
○F ○
工法
○断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ○
厚さ(mm) ○
施工場所 ○
○断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ○A種1 ○A種1H ○
吹付け厚さ(mm) ○25 ○30 ○
施工場所 ○
○断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 () 厚さ (mm) ()
○断熱材にせつこうボード等を貼り付けたパネル
材質 () 厚さ (mm)
○張り付け工法
断熱材の張り付け工法 ○
断熱材へのボードの張付け工法 ○

適用範囲: 歩道
既存舗装の撤去及び再利用 ○図示 ○
路床
路床の材料
種別 材料 厚さ(mm)
○盛土 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○
○建設汚泥から再生した処理土 [G] ○
○凍上抑制層 ○再生クラッシュラン [G] ○クラッシュラン ○
○切込み砂利 ○
○砂(改修標準仕様書表9.5.7による) ○
○フィルター層 ○改修標準仕様書表9.5.3(3)(イ)による ○

○凍結抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験
○行う ○行わない
○路床安定処理 ○適用する ○適用しない
安定処理の方法 ○置き換え工法() ○安定処理工法
路床安定処理添加材料
種類 ○普通ポルトランドセメント ○高炉セメントB種 [G]
○フライアッシュセメントB種
○生石灰(○特号○1号) ○消石灰(○特号○1号)
添加量 ○ kg/m³ (目標CBR ○3以上 ○)
目標CBRを満足する添加量の確認方法
○安定処理土のCBR試験 ○
○不織布(ジオテキスタイル)
単位面積質量 ○60g/m²以上 ○
厚さ(mm) ○0.5-1.0 ○
引張強さ ○98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ○
透水係数 ○1.5×10⁻⁶cm/sec以上 ○

○3 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2-5, 9] [表9.5.7]

7 塗装改修工事
○1 材料 [7.1.3]
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
○F ○
防火材料 ○屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
○次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)

○2 下地調整 [7.2.1-7] [表7.2.1-7]
塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
○劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○図示 ○
既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ○行う () ○行わない
下地調整
下地面の種類 下地調整の種別 塗替え ひび割れ部の補修
木部 ○不透明塗料塗りの場合はRB種
鉄鋼面 ○RB種 ○
亜鉛めっき面 ○RB種 ○
亜鉛めっき面(鋼製建具等) ○RB種 ○
モルタル、
せつこうプラスター面 ○行う
コンクリート面(DP以外)、
ALCパネル面 ○行わない
押出成形セメント板面 ○RA種 ○RB種
○RC種 ○
コンクリート面(DP) ○RB種 ○RC種 ○
せつこうボード面及び
その他ボード面 ○RB種 ○

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書(7)		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-07
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

8	環境配慮改修工事	<p>試験</p> <p>路床土の支持力比（CBR）試験 ○行う（ ）箇所 ○行わない</p> <p>路床締固めの試験 ○行う（ ）箇所 ○行わない</p> <p>現場CBR試験 ○行う（ ）箇所 ○行わない</p> <p>六価クロム溶出試験 ○行う（現場説明書による） ○行わない</p> <p>路盤</p> <p>路盤の厚さ ○図示 ○</p> <p>路盤材料（改修標準仕様書表9.5.3による種別）</p> <p>○クラッシュラン ○粒度調整砕石 ○再生クラッシュラン <input type="checkbox"/> G</p> <p>○再生粒度調整砕石 <input type="checkbox"/> G ○クラッシュラン鉄鋼スラグ <input type="checkbox"/> G</p> <p>○粒度調整鉄鋼スラグ <input type="checkbox"/> G ○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ <input type="checkbox"/> G</p> <p>舗装の構成 ○図示 ○</p> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ○行う ○行わない</p> <p>舗装の平坦性 ○着しい不陸がないもの ○</p>
---	----------	--

● 2 建設発生土

(3.2.5)

建設発生土は、
 処分場会社名 株式会社NGK 処分場住所 柏市大青田1657
 （発生場所からの距離13.8km）に搬出することとする。

工事発注後、上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
 片道運搬距離は積算上、代表地点から算出してあり距離であり、
 実際の運搬距離と差異が生じる場合においては、設計変更の対象としない。
 搬出の際は、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検液を作成し、
 計量した結果証明書提出しなければならない。
 なお、計量する対象は、付表に定める溶出試験28項目、含有量試験2項目とする。

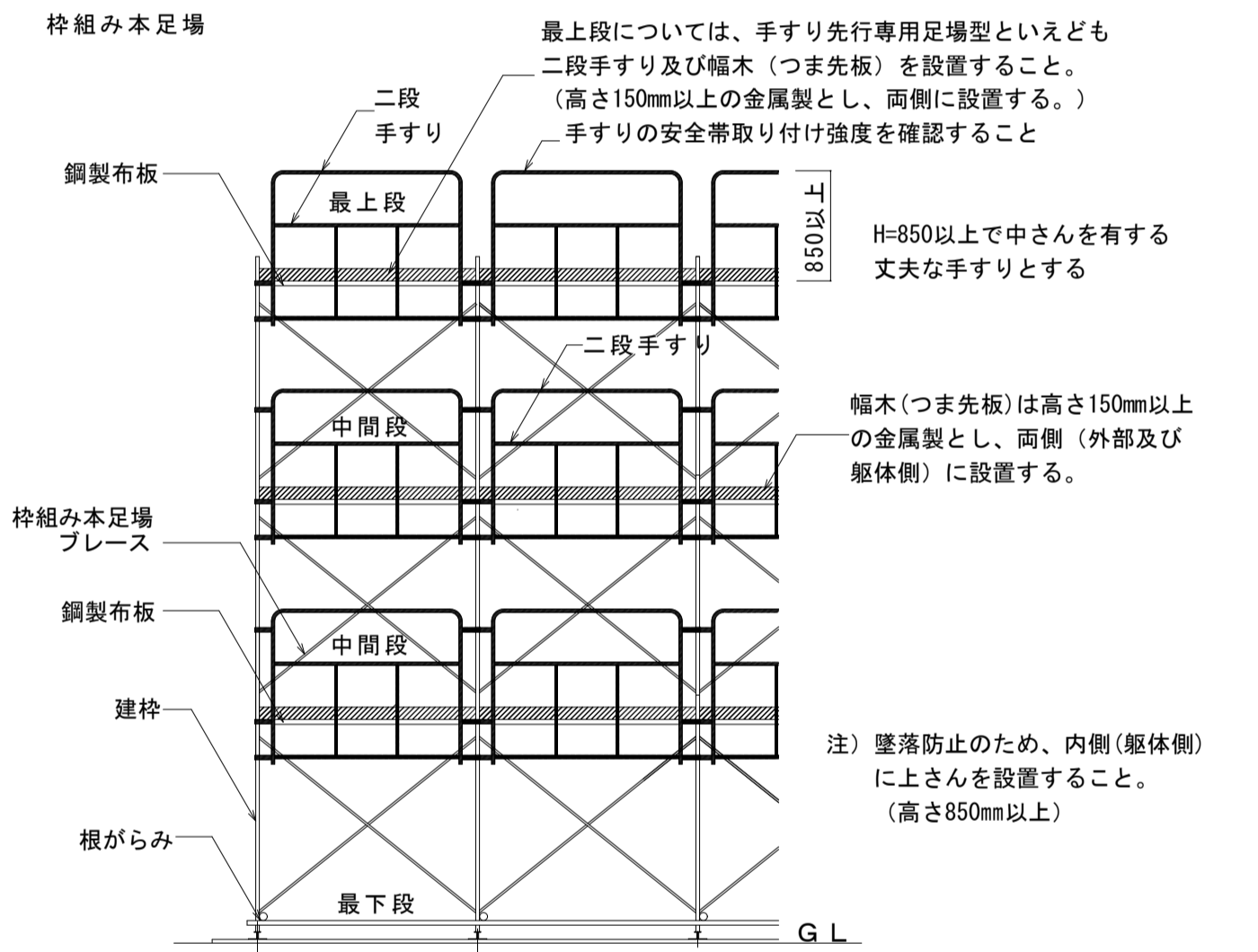
9	その他	<p>○ 1 土工事</p> <p>1. 埋め戻し及び盛り土 (3.2.3) (表3.2.1)</p> <p>種類 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種</p> <p>○建設汚泥から再生した処理土 <input type="checkbox"/> G</p> <p>2. 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>○構外搬出適切処理</p> <p>○構内指示の場所に敷き均し、○構内指示の場所に堆積、○ ()</p> <p>○ 2 コンクリートブロック工事</p> <p>1. 補強コンクリートブロック造 (8.2.2~5)</p> <p>○ブロックの種類:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○無、○有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○無、○有</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル調合（容積比）：○（セメント（ ））：砂（ ） 各部の配筋：○図示、○（ ） モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲：○図示、○（ ）</p> <p>2. コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2~4)</p> <p>○ブロックの種類:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味厚さ (mm)</th> <th colspan="2">モジュール呼び寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">表8.3.1以外の適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○空洞ブロックC(16)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○無、○有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○型枠状ブロック20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○無、○有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○無、○有</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>塀の厚さ (mm)：○ 塀の高さが2m以下 ○120、○ () 塀の高さが2mを超え ○150、○ () 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状：○図示、○ () 各部の配筋：○図示、○ ()</p> <p>施 工</p> <p>○外壁面に取っつく金属製建具の既存ガラスクリーニング(両面)は本工事とする。</p> <p>○ 4 既存建具金物調整</p> <p>○破損及び滅失金物は、交換又は取付、その他の金物は調整する。 調整建具箇所 ○金属製建具（○内外共 ○外部 ○） ○木製建具</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	○				○無、○有			○				○無、○有			断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の有無	表8.3.1以外の適用箇所	備考	長さ	高さ	○空洞ブロックC(16)				○無、○有			○型枠状ブロック20				○無、○有			○				○無、○有		
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)			化粧の有無	適用箇所				備考																																													
		長さ	高さ																																																				
○				○無、○有																																																			
○				○無、○有																																																			
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の有無	表8.3.1以外の適用箇所	備考																																																	
		長さ	高さ																																																				
○空洞ブロックC(16)				○無、○有																																																			
○型枠状ブロック20				○無、○有																																																			
○				○無、○有																																																			

別記1	「建設副産物の処理」	<p>● 1 共通事項</p> <p>1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(OBRIS)」により作成し、発生材処理計画書に各1部提出すること。 また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。</p> <p>◎作成対象工事 「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。</p> <p>2) 建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提示し確認を受けること。</p> <p>3) 建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のE票を提示すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの(受渡確認票等)を提示すること。</p>
-----	------------	--

別記2

工事区分表		施工区分			
工事内容		建築	電気	機械	
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け	●	○	○
		鉄筋補強	●	○	○
		スリーブ、型枠（補強筋無し）	○	○	○
		スリーブ、型枠（補強筋有り）	○	●	●
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）	●	○	○
軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	●	○	○	
		切込み（開口補強有り）	○	●	●
基礎	屋内	配電盤、制御盤、キューブ	●	○	○
		受水槽、タンク類等	●	○	○
	屋上	テレビアンテナ、避雷針、高架水槽、クーリングタワー	●	○	○
		消火水槽等	●	○	○
	屋外	キューブ、受水槽、タンク類等	●	○	○
		鉄筋コンクリート製	●	○	○
		無筋コンクリート製、その他	●	○	○
点検口	架台、アンカーボルト	●	○	○	
	床、壁、天井	●	○	○	
配管配線	配管ビット、トレンチビット	○	○	○	
		○	○	○	
	機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	○	●	○
		二次側	○	○	○
	熱感知器から運動制御盤を経て防火ダンパーに至る配管配管	○	●	●	
		熱感知器から防火シャッターから熱感知器に至る配管	○	○	○
		○	○	○	
換気扇取付パネル	○	○	●		
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			
○	○	○			

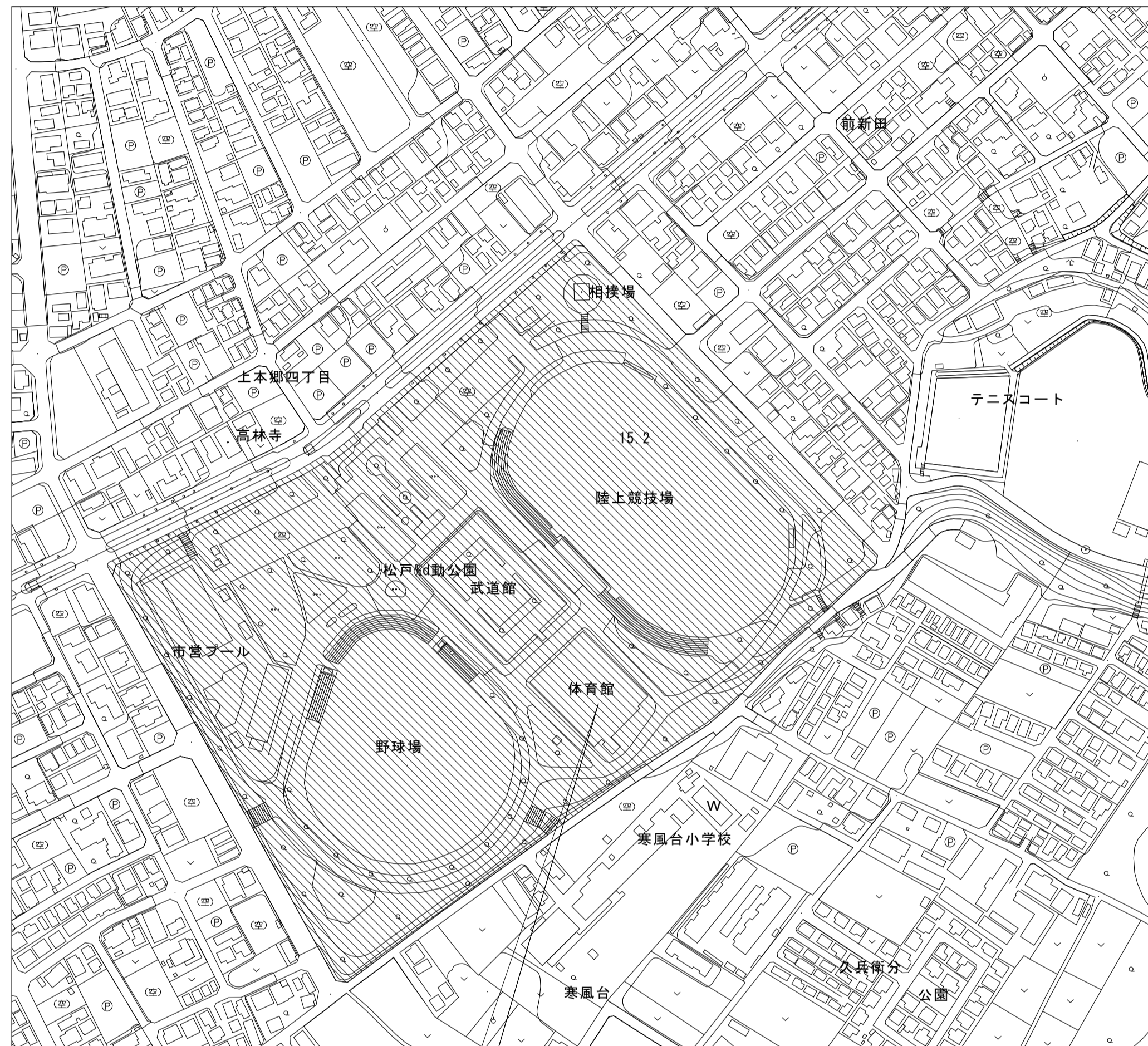
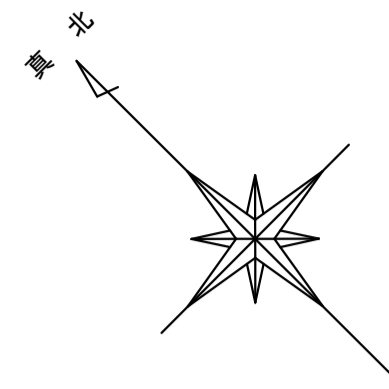
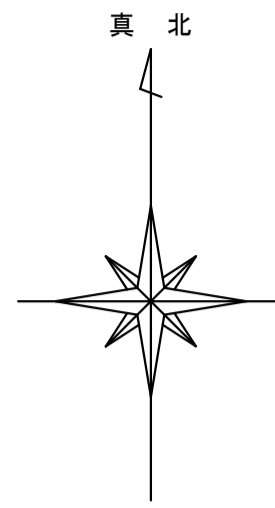
仮設足場（参考）



「働きやすい安心感のある足場」手すり先行専用足場型概念図

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2)手すり据置き方式又は3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	改修工事特記仕様書（8）		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-08
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 浩 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			



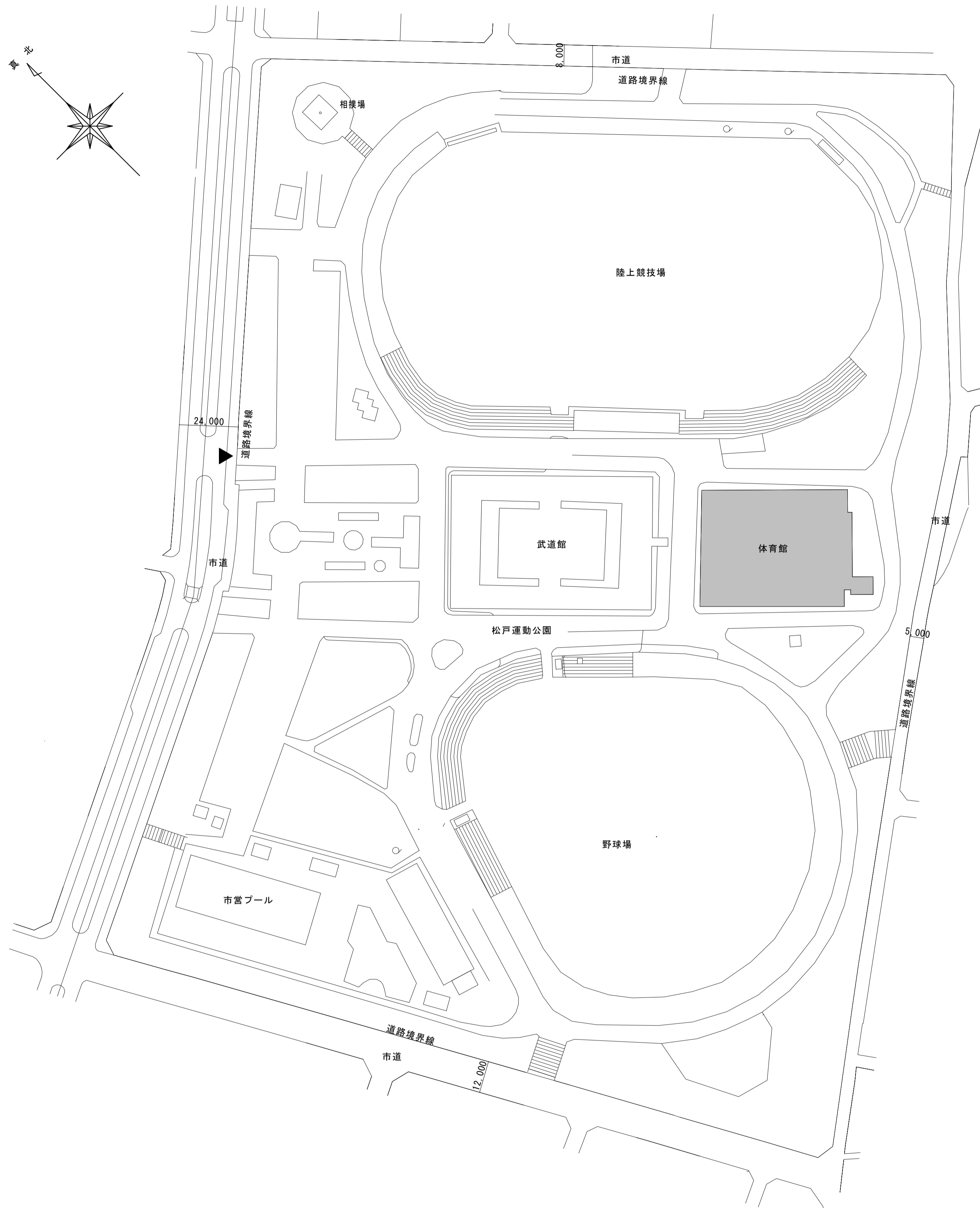
工事場所：松戸市上本郷4434番地

案内図 S=1/5000

：工事場所を示す。

工事概要

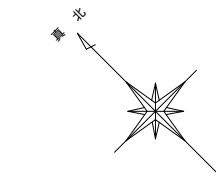
箇所	工事概要
全体	設備工事改修に伴い一部天井張替え 設備工事改修に伴い一部ガラスフィルム撤去 設備工事改修に伴い一部ガラスフィルム新設 シート交換
観客席	
アーチェリー場	設備工事改修に伴いアルミガラリ撤去 設備工事改修に伴い可動アルミガラリ新設
外構	設備工事改修に伴い室外機基礎新設
武道館	設備工事改修に伴いアルミガラリ撤去 設備工事改修に伴いアルミパネル新設




配置図 S=1/2000

：工事箇所を示す。

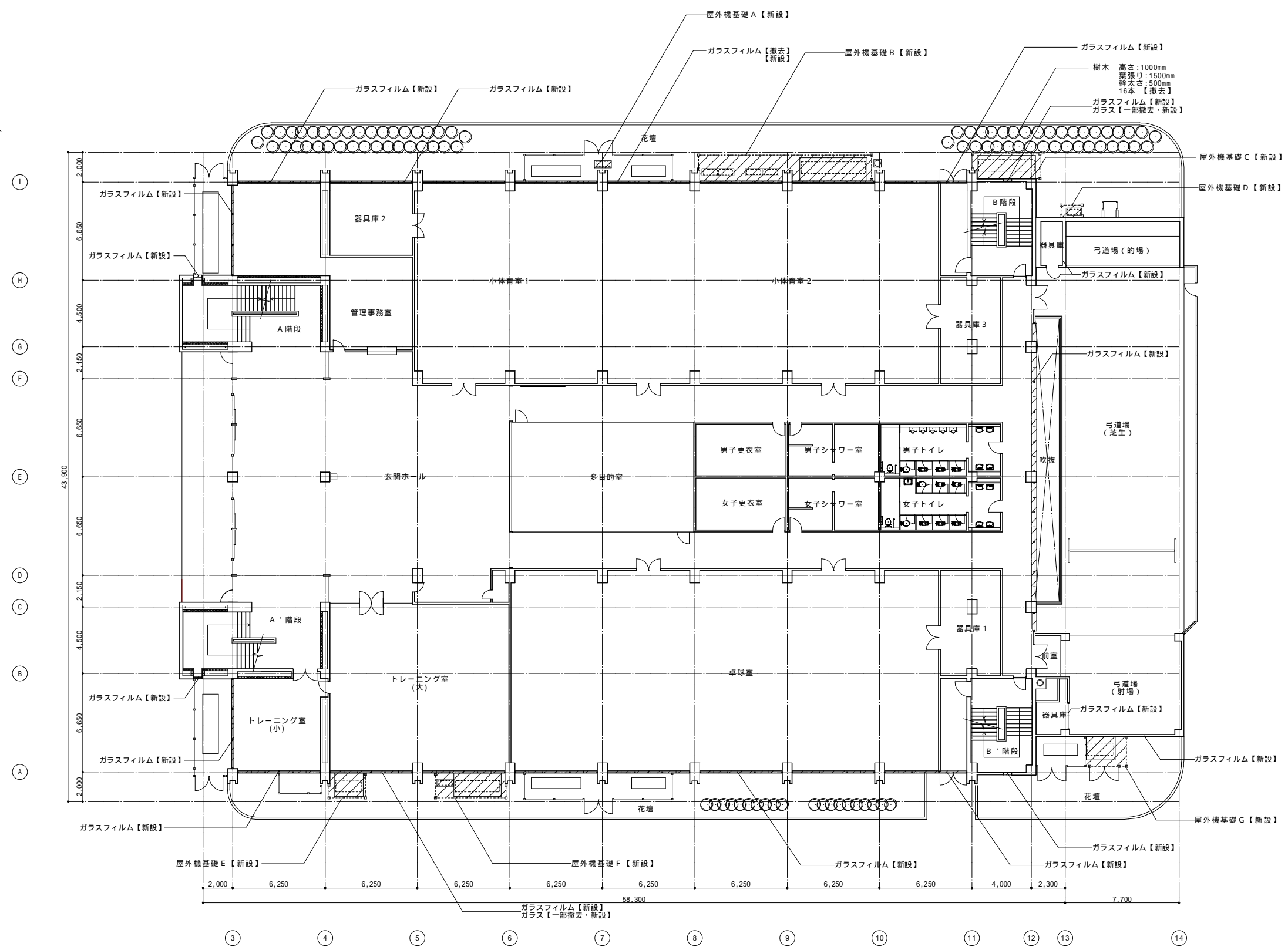
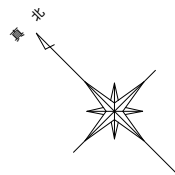
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/1000, 2500 A3:1/2000, 5000	図面番号	A-09
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



B 1 階平面図

 改修工事範囲を示す

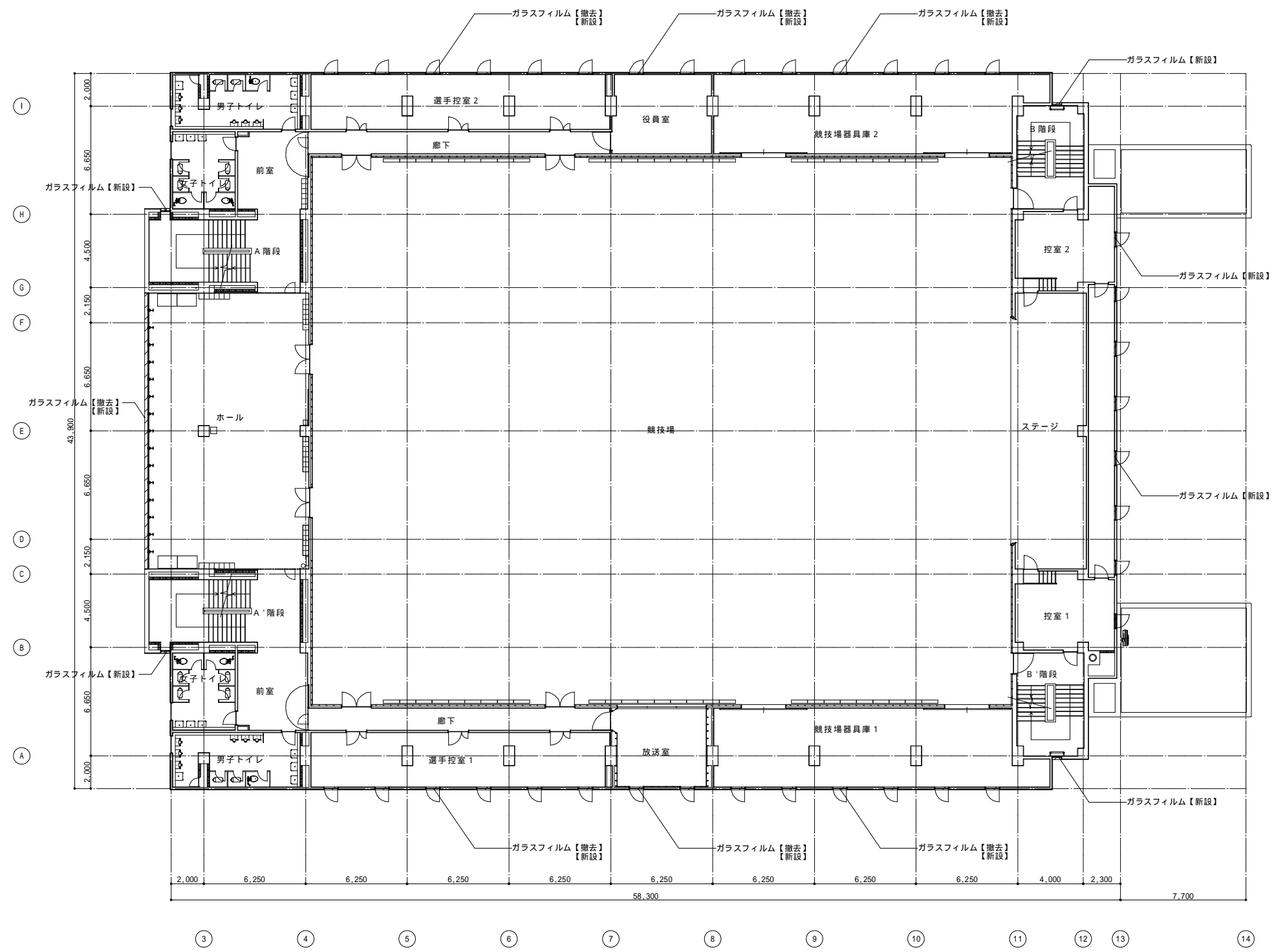
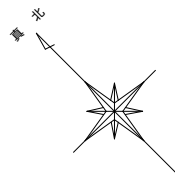
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】B 1 階平面図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	A-10
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



1 階平面図

改修工事範囲を示す

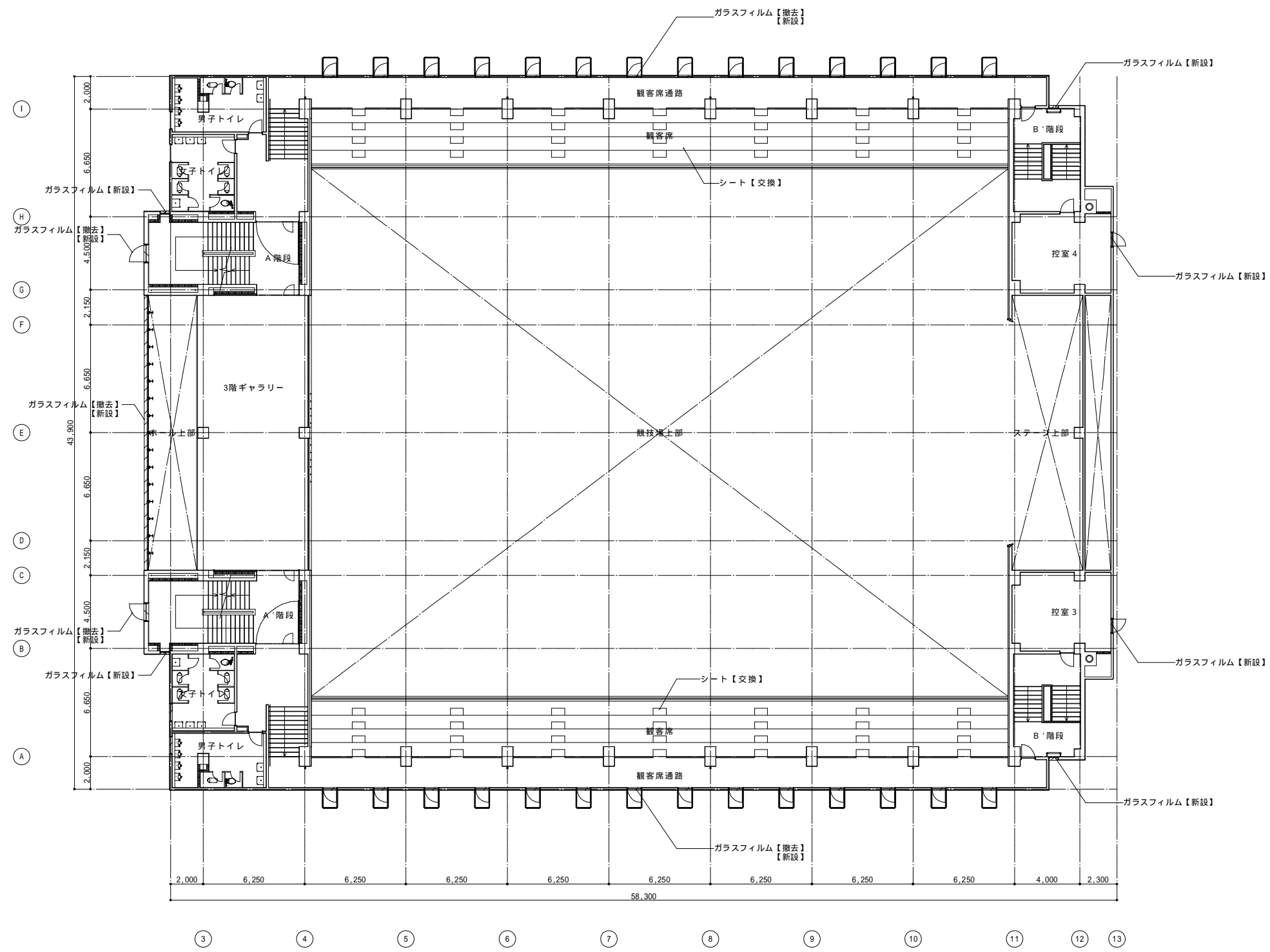
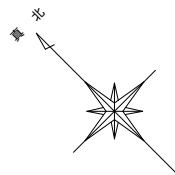
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】1階平面図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	A-11
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



2階平面図

改修工事範囲を示す

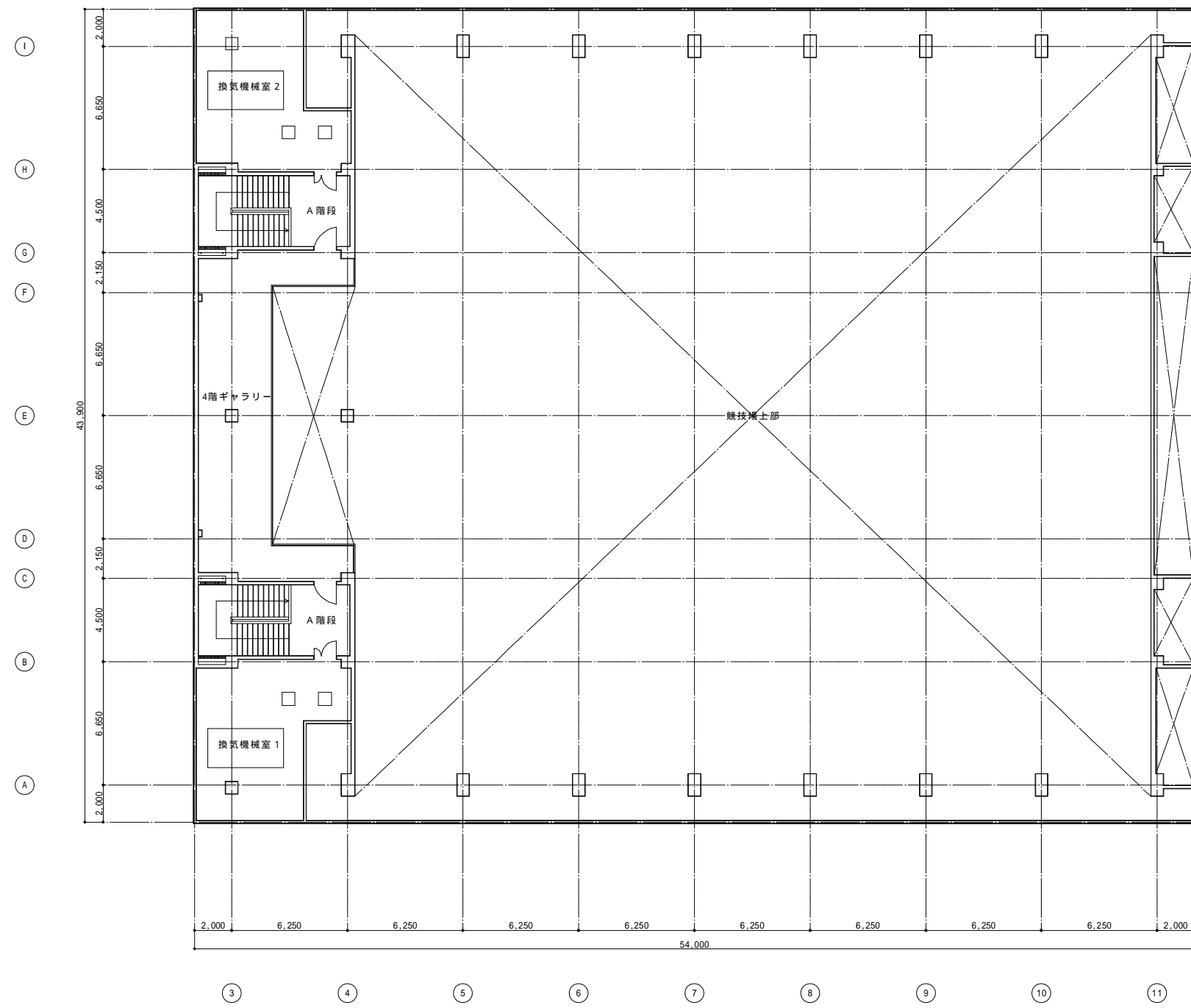
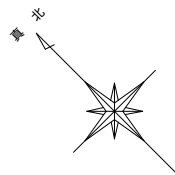
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】2階平面図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	A-12
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



3階平面図

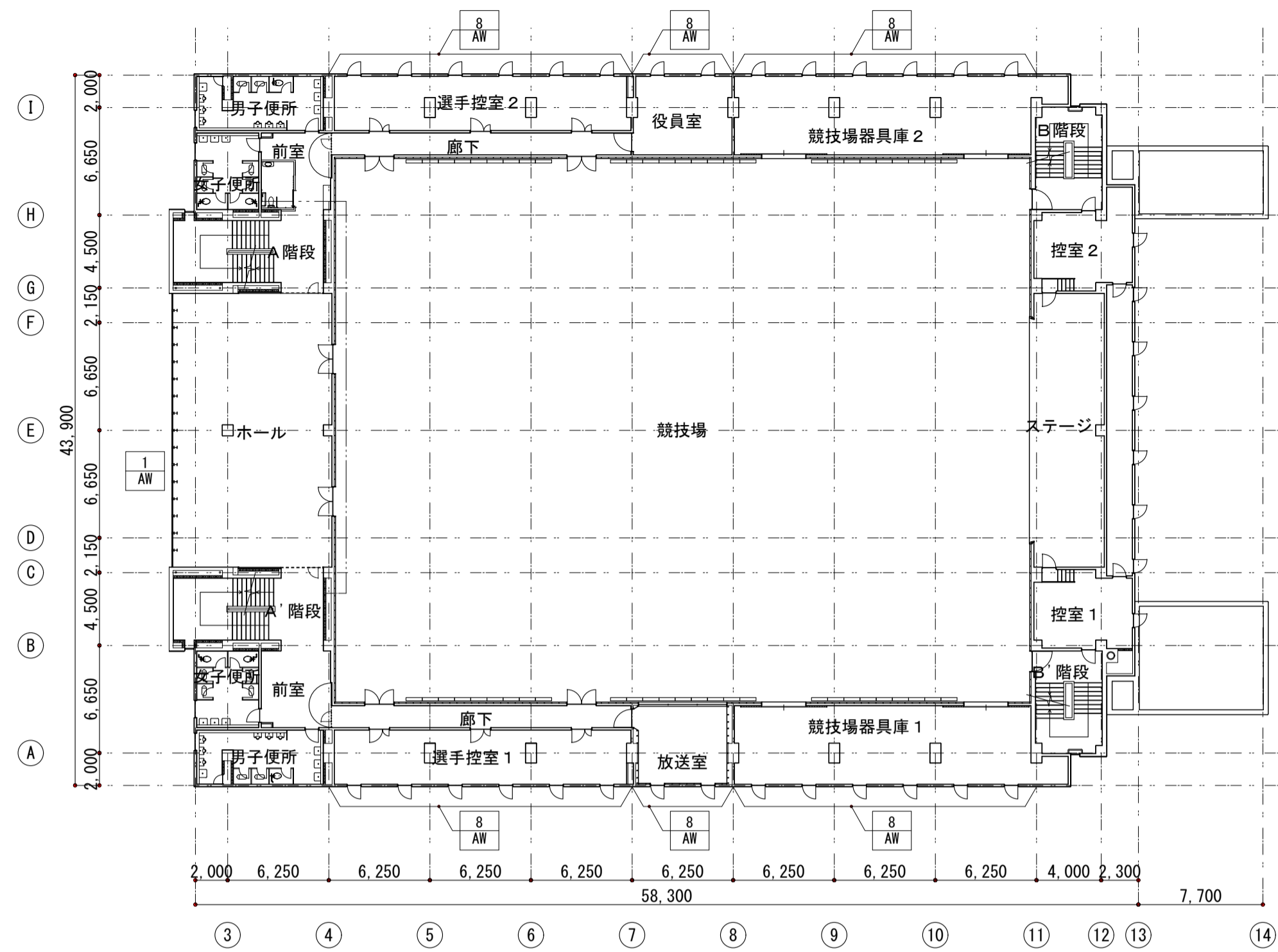
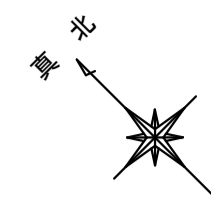
改修工事範囲を示す

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】3階平面図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	A-13
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

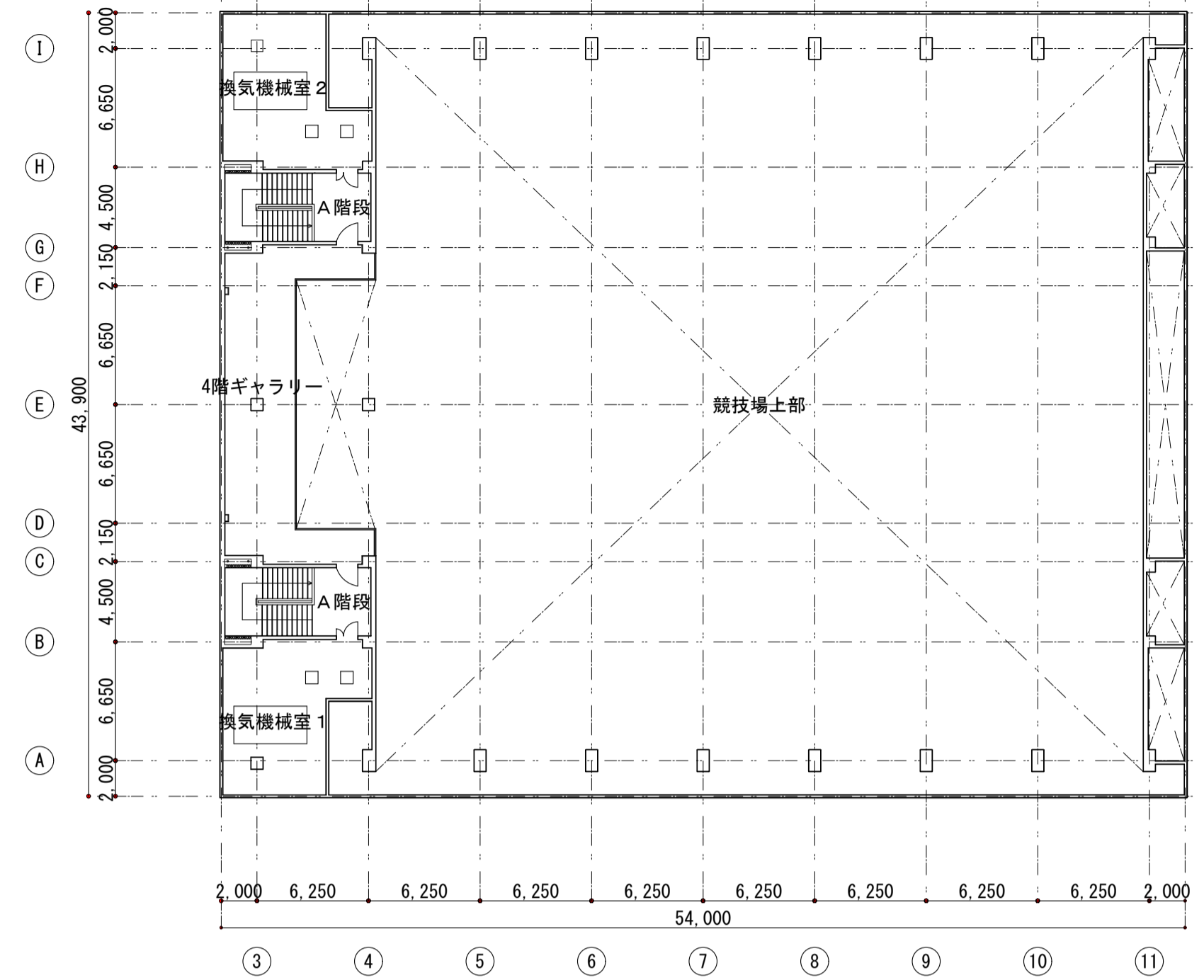
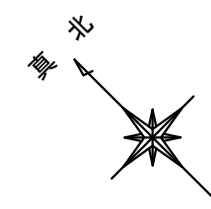


4階平面図

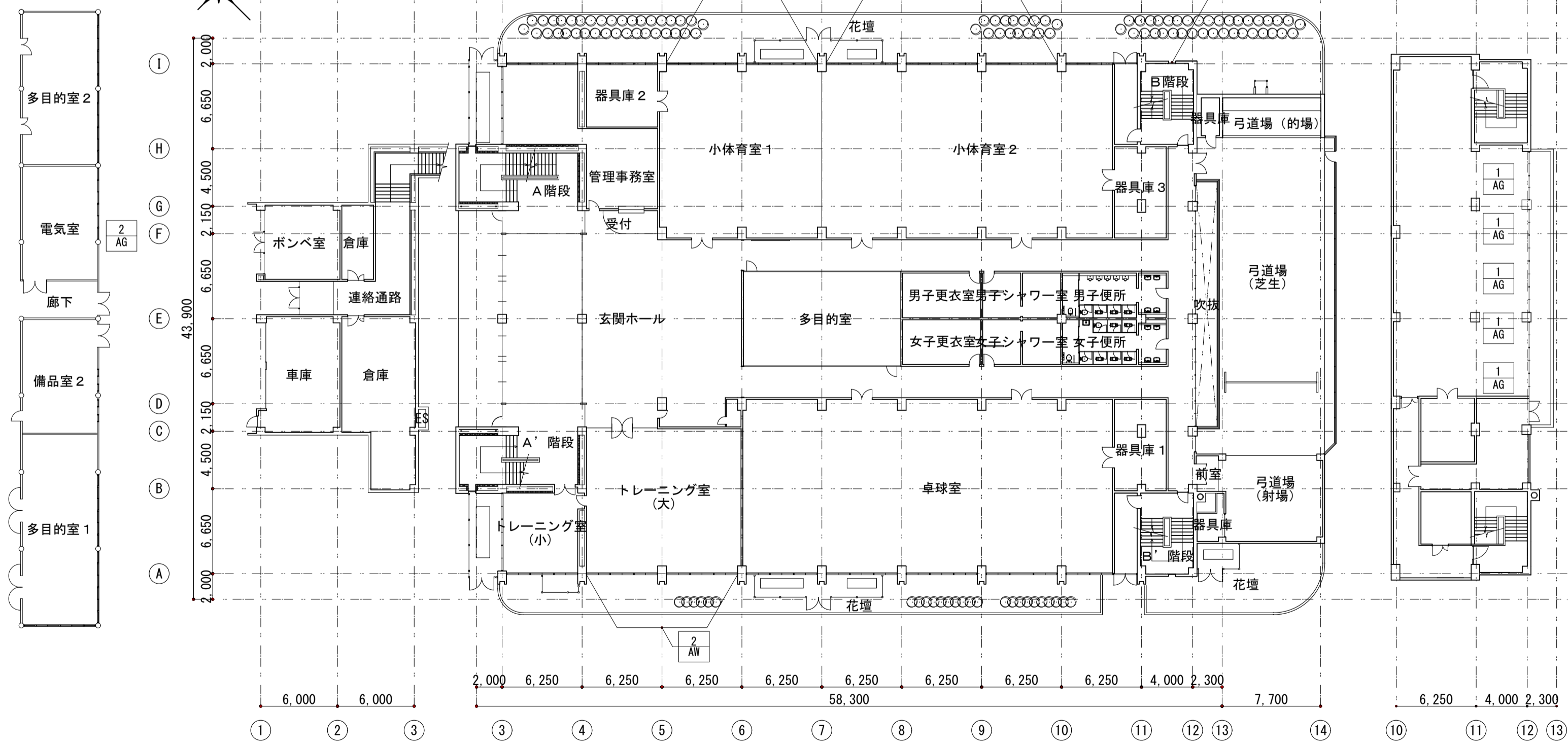
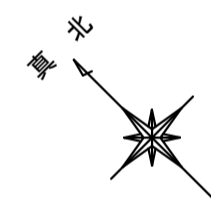
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置建築工事		
図面名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	A-14
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



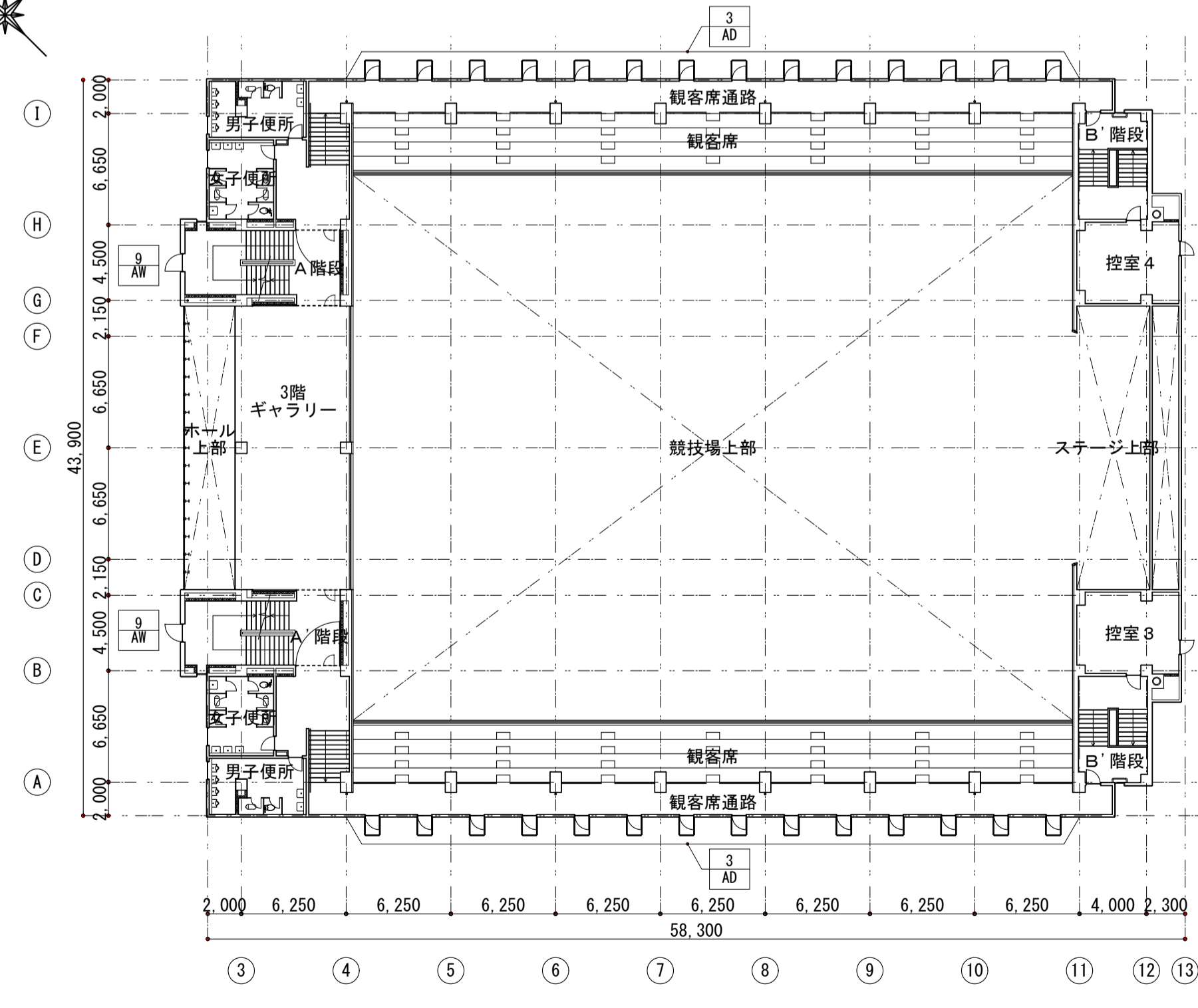
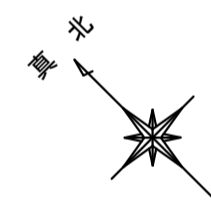
2階平面図



4階平面図



B1階平面図



3階平面図

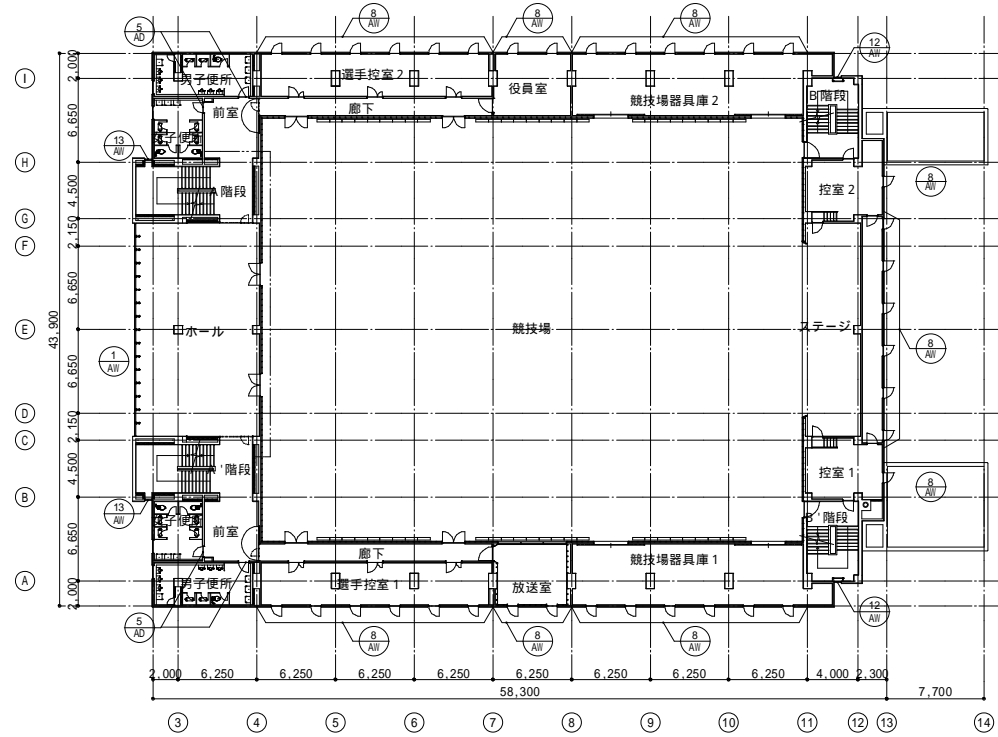
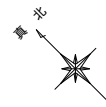
凡例
 * 既存撤去フィルム

武道館平面図

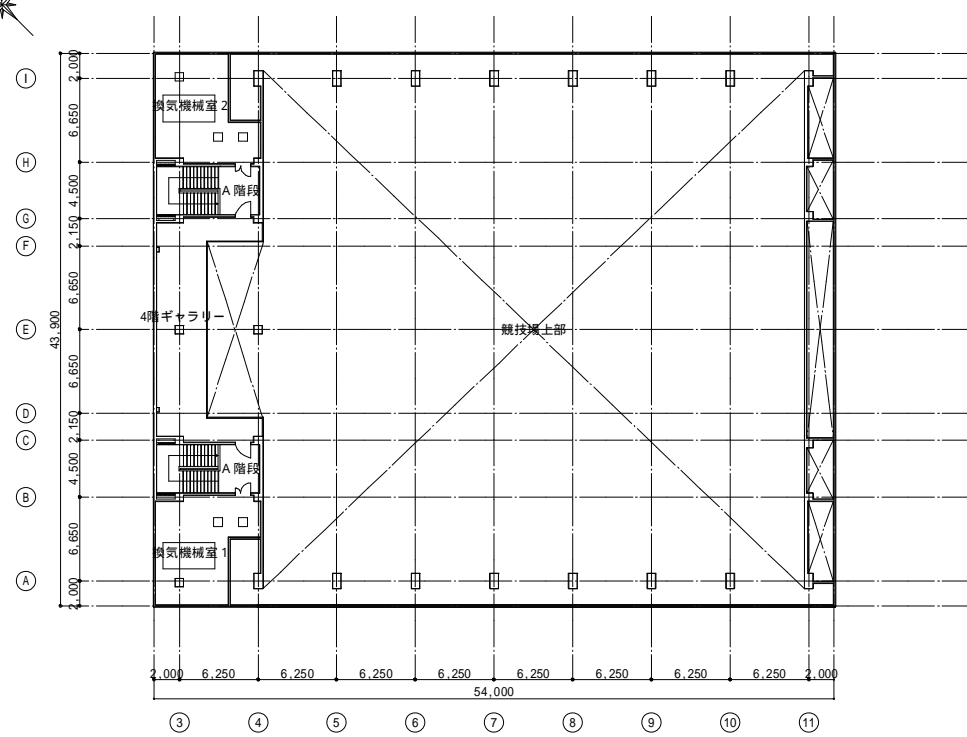
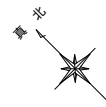
B1階平面図

B1階平面図

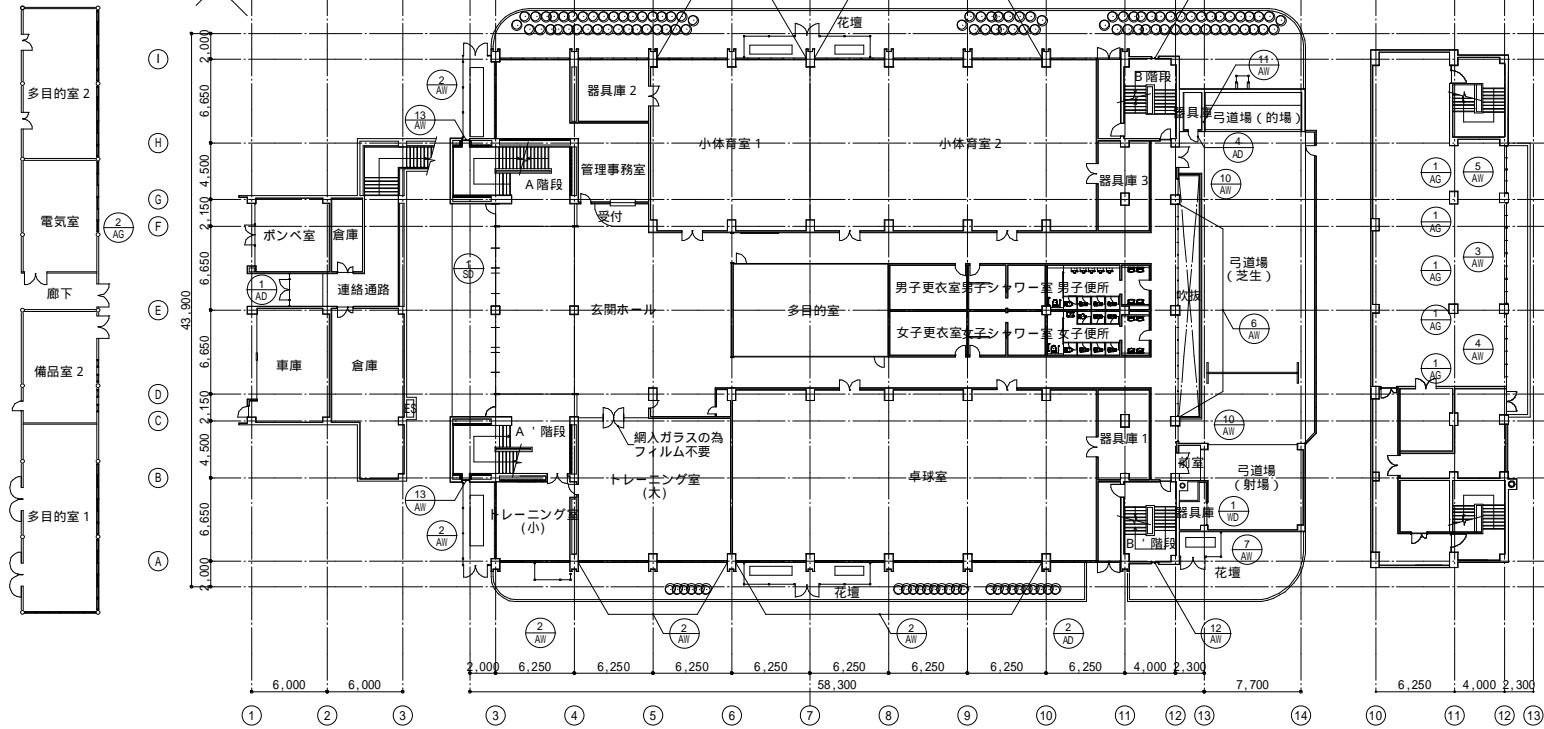
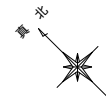
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前】建具キープラン		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/300 A3:1/600	図面番号	A-15
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



2階平面図



4階平面図

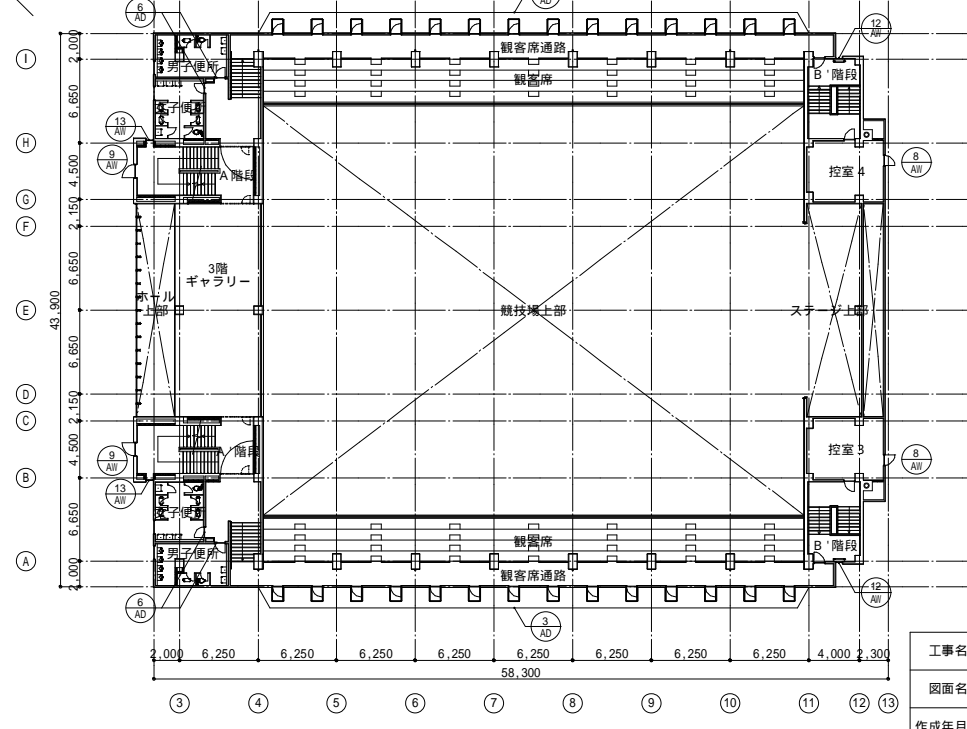
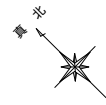


武道館平面図


B 1階平面図

1階平面図

B 1階平面図



3階平面図

凡例
 新設フィルム

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修後】建具キープラン		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/300 A3:1/600	図面番号	A-16
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	① S D 両袖 F I X 窓付 両開きドア 1ヶ所	① A D 両袖 F I X 窓付 両開きドア 1ヶ所	② A D ランマ F I X 窓付両開きドア 2連引違い窓 1ヶ所	② A D ランマ F I X 窓付両開きドア 2連引違い窓 1ヶ所	④ A D 片開きドア 1ヶ所
断面					
場所	1階 玄関ホール	B1階入口	小体育館2、廊下	1階卓球室、廊下	1階器具庫
硝子種類	網入透明 t 6、8、強化透明 t 5、透明 t 5	両開き：網入透明硝子 t 6.8、両袖：透明 t 5	両開きドア：網入透明硝子 t 6.8、ランマ・引違い窓：透明硝子 t 5	両開きドア：網入透明硝子 t 6.8、ランマ・引違い窓：透明硝子 t 5	網入透明硝子 t 6.8(上部)、透明硝子 t 5(下部)
備考	既存：— 新設：遮熱防止フィルム貼付(3M NANO70SX同等品)内貼(透明硝子、強化透明硝子) 遮熱防止フィルム貼付(3M NANO90S同等品)内貼(網入透明硝子)	既存：— 新設：飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼 (日が当たらない為)	既存：— 新設：遮熱防止フィルム(3M NANO70S同等品)内貼(引違い窓) 飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼(ランマ)	既存：— 新設：遮熱防止フィルム(3M NANO70S同等品)内貼(引違い窓) 飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼(ランマ)	既存：— 新設：飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼

記号・名称・個数	③ A D ③ A D 片開きドア 1ヶ所	③ A D ③ A D 片開きドア 1ヶ所
断面		
場所	競技場上部3階バルコニー出口(北東側)	競技場上部3階バルコニー出口(南西側)
硝子種類	網入透明硝子 t 6.8	網入透明硝子 t 6.8、一部型硝子
備考	既存：フィルム撤去(劣化している為) 新設：遮熱防止フィルム(3M NANO90S同等品)内貼	既存：フィルム撤去(劣化している為) 新設：遮熱防止フィルム貼付(3M NANO90S同等品)内貼 遮熱防止フィルム貼付(3M NANO70SX同等品)外貼(型硝子)

記号・名称・個数	① A III ① A III カーテンウォール F I X 窓 一部突き出し窓 1ヶ所
断面	
場所	2階ホール
硝子種類	透明硝子 t 5
備考	既存：フィルム撤去 新設：遮熱防止フィルム(3M NANO70S同等品)内貼

フィルム撤去・新設範囲を示す
 フィルム新設範囲を示す

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	建具表-1		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-17
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

記号・名称・個数	2 A W	引違い3連窓	2ヶ所	2 A W	2 A W	引違い3連窓	1ヶ所	2 A W	引違い3連窓	2ヶ所
図										
場所	1階トレーニング室(小)		1階トレーニング室(大)		1階トレーニング室(大)		1階管理事務室			
硝子種類	透明硝子t5		透明硝子t5		透明硝子t5		透明硝子t5			
備考	既存： - 新設：遮熱防止フィルム(3M NANOTOS同等品)内貼		既存： - 新設：遮熱防止フィルム(3M NANOTOS同等品)内貼		既存： - 新設：遮熱防止フィルム(3M NANOTOS同等品)内貼		既存： - 新設：遮熱防止フィルム(3M NANOTOS同等品)内貼			

記号・名称・個数	2 A W	引違い3連窓	1ヶ所	2 A W	引違い3連窓
図					
場所	1階器具庫2		1階卓球室		
硝子種類	透明硝子t5		透明硝子t5		
備考	既存： - 新設：飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼		既存： - 新設：遮熱防止フィルム(3M NANOTOS同等品)内貼		

記号・名称・個数	2 A W	2 A W	引違い3連窓	1ヶ所
図				
場所	1階小体育室2			
硝子種類	透明硝子t5			
備考	既存： フィルム撤去 新設：遮熱防止乳白フィルム貼付(3M NANOMAML同等品)内貼			

記号・名称・個数	2 A W	2 A W	引違い3連窓	1ヶ所
図				
場所	1階小体育室1			
硝子種類	透明硝子t5			
備考	既存： フィルム撤去 新設：遮熱防止乳白フィルム貼付(3M NANOMAML同等品)内貼			

フィルム撤去・新設範囲を示す
 フィルム新設範囲を示す

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	建具表-2		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-18
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

記号・名称・個数	③ A W	ランマ付引違い4連窓	1ヶ所	④ A W	ランマ付引違い3連窓	1ヶ所	⑤ A W	ランマ付引違い2連窓	1ヶ所
図									
場所	B1階アーチェリー場			B1階アーチェリー場			B1階アーチェリー場		
硝子種類	透明硝子t3			透明硝子t3			透明硝子t3		
備考	既存： - 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼			既存： - 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼			既存： - 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼		

記号・名称・個数	⑥ A W	ランマ外倒し窓付引違い4連窓	1ヶ所	⑦ A W	引違い2連窓	1ヶ所
図						
場所	1階廊下			1階弓道場（射場）		
硝子種類	透明硝子t3			透明硝子t3		
備考	既存： - 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼			既存： - 新設：飛散防止フィルム（3M SH2CLAR同等品）内貼		

記号・名称・個数	⑧ A W	片開き窓	1ヶ所	⑧ A W	片開き窓	1ヶ所	⑧ A W	片開き窓	1ヶ所	⑧ A W	片開き窓	1ヶ所	⑧ A W	片開き窓	1ヶ所
図															
場所	2階選手控室1			2階放送室		2階競技場器具庫1			2階選手控室2			2階役員室			
硝子種類	透明硝子t5			透明硝子t5		透明硝子t5			透明硝子t5			透明硝子t5			
備考	既存： フィルム撤去 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼			既存： フィルム撤去 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼		既存： フィルム撤去 新設：飛散防止フィルム（3M SH2CLAR同等品）内貼			既存： フィルム撤去 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼			既存： フィルム撤去 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼			

記号・名称・個数	⑧ A W	片開き窓	1ヶ所	⑧ A W	片開き窓	2ヶ所
図						
場所	2階競技場器具庫2			2階控室1・2		
硝子種類	透明硝子t5			透明硝子t5		
備考	既存： フィルム撤去 新設：飛散防止フィルム（3M SH2CLAR同等品）内貼			既存： - 新設：遮熱防止フィルム（3M NANO70S同等品）内貼		

フィルム撤去・新設範囲を示す
 フィルム新設範囲を示す

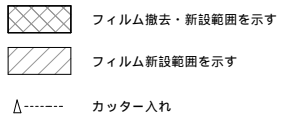
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	建具表-3		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-19
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

記号・名称・個数	8 A W	片開き窓	1ヶ所	8 A W	片開き窓	2ヶ所	9 A W	9 A W	片開き窓	2ヶ所	10 A W	F I X窓	2ヶ所	11 A W	F I X窓	1ヶ所	12 A W	12 A W	上部に出し窓 下部 F I X窓	8ヶ所	13 A W	上部に出し窓 下部 F I X窓	2ヶ所
窓																							
場所	2階ステージ裏			3階控室3・4			3階A・A'階段			1階廊下			1階弓道場(射場)			B・B'階段			A・A'階段				
硝子種類	透明硝子t5			透明硝子t5			透明硝子t5			透明硝子t5			透明硝子t3			透明硝子t3			透明硝子t3				
備考	既存： - 新設：飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼			既存： - 新設：飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼			既存：フィルム撤去 新設：遮熱防止フィルム(3M NANO70S同等品)内貼			既存： - 新設：遮熱防止フィルム(3M NANO70S同等品)内貼			既存： - 新設：飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼			既存： - 新設：飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼			既存： - 新設：遮熱防止フィルム(3M NANO70S同等品)内貼				

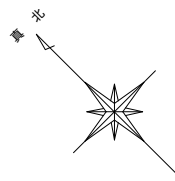
記号・名称・個数	13 A W	上部に出し窓 下部 F I X窓	6ヶ所	1 W D	F I X連窓	1ヶ所	1 A G	アルミガラリ	5ヶ所	1 A G	アルミ可動ガラリ	5ヶ所	2 A G	アルミガラリ	1ヶ所	2 A G	アルミガラリ	1ヶ所				
窓																						
場所	A・A'階段			弓道場			B1階			B1階			武道館 電気室			武道館 電気室						
硝子種類	透明硝子t3			透明硝子t5.0			アルマイト処理 / 70			アルマイト処理 シルバー / 70			アルマイト処理 / 70			アルマイト処理 シルバー / 70						
備考	既存： - 新設：遮熱防止フィルム(3M NANO70S同等品)内貼			既存： - 新設：飛散防止フィルム(3M SH2CLAR同等品)内貼			付属金物一式			付属金物一式			ガラリ撤去			アルミパネルt3新設						

記号・名称・個数																						
場所																						
硝子種類																						
硝子サイズ																						
備考																						

記号・名称・個数																						
場所																						
硝子種類																						
硝子サイズ																						
備考																						



工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	建具表-4		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図面番号	A-20
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
備考	松戸市 街づくり部 建築保全課		



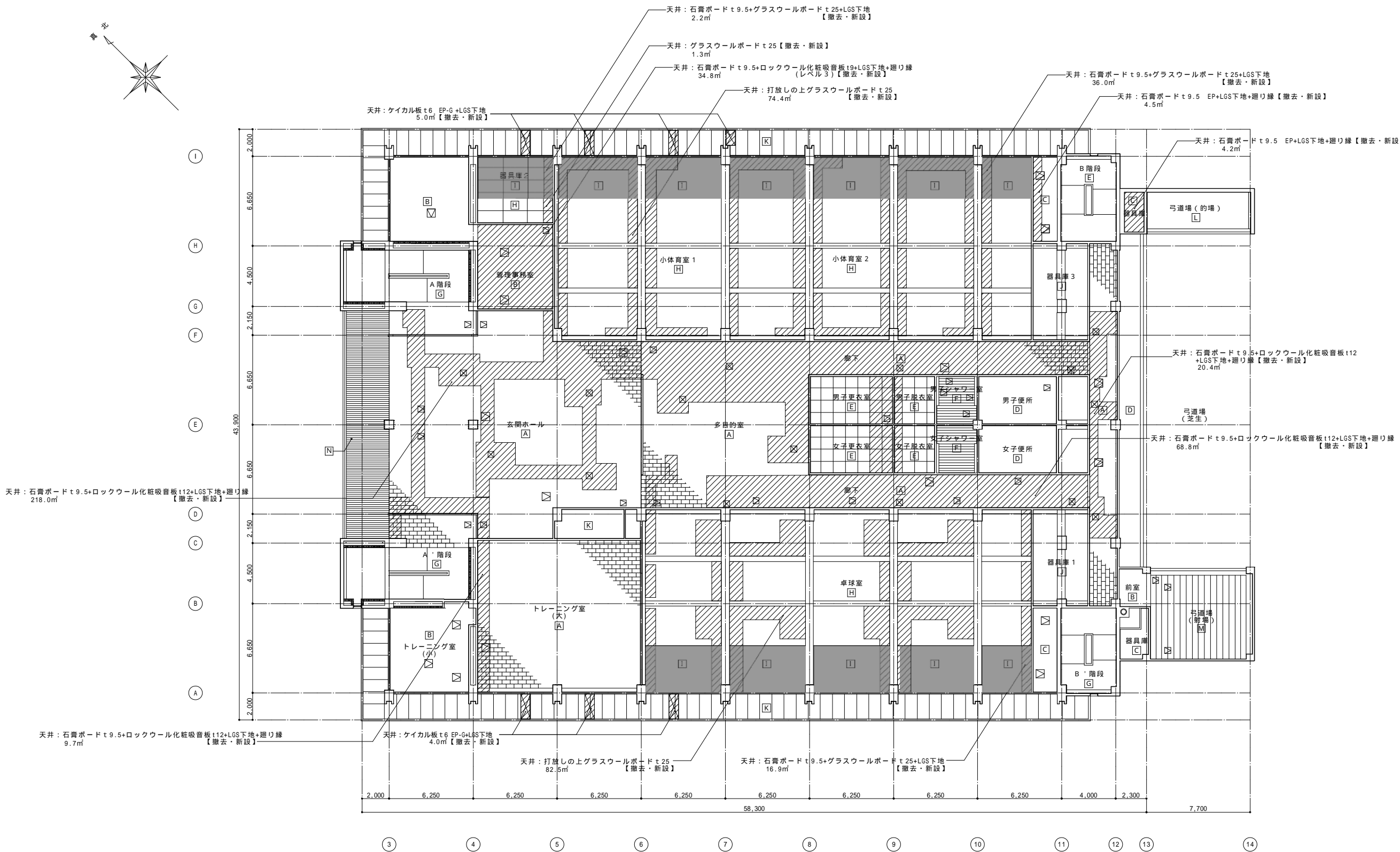
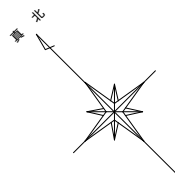
B 1 階天井伏図

<凡例>

A	フレキシブルボード t4 VP
B	プasterボード t9.5 VP
C	打敷の上色セメント吹付
D	モルタル塗 VP
E	化粧石膏ボード t9.5
⊠	天井点検口 600x600 10箇所【撤去・新設】
⊞	天井点検口 600x600 3箇所【新設】
▨	改修範囲

開口補強			
室名	サイズ	数量	
アーチェリー場	4方向カセット (空調)	900x900	7
"	薄型給排気グリル (換気)	400x400	10
"	天井点検口	600x600	13
"	照明	1250x230	22
"	"	150x150	7

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】B 1 階天井伏図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1: 1/150 A3: 1/300	図面番号	A-21
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

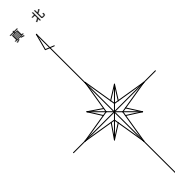


A	石膏ボード t9.5+ ロックウール化粧吸音板 t12
B	石膏ボード t9.5+ ロックウール化粧吸音板 t9
C	石膏ボード t9.5 EP
D	フレキシブルボード t4 VP
E	化粧ケイカル板 t6
F	樹脂パネル t3
G	モルタル塗 EP
H	開放しの上グラスウールボード t25
I	石膏ボード t9.5+ グラスウールボード t25
J	開放しの上セメント吹付
K	ケイカル板 t6 EP-G
L	開放しの上アクリルシン吹付
M	化粧石膏ボード t9 (杉葺)
N	スバンドレル 1.3mm ポリウレタン樹脂塗装
☒	天井点検口 600x600 10箇所【撤去・新設】
☒	天井点検口 450x450 11箇所【撤去・新設】
☒	天井点検口 450x450 15箇所【新設】
■	下がり天井範囲
▨	改修範囲

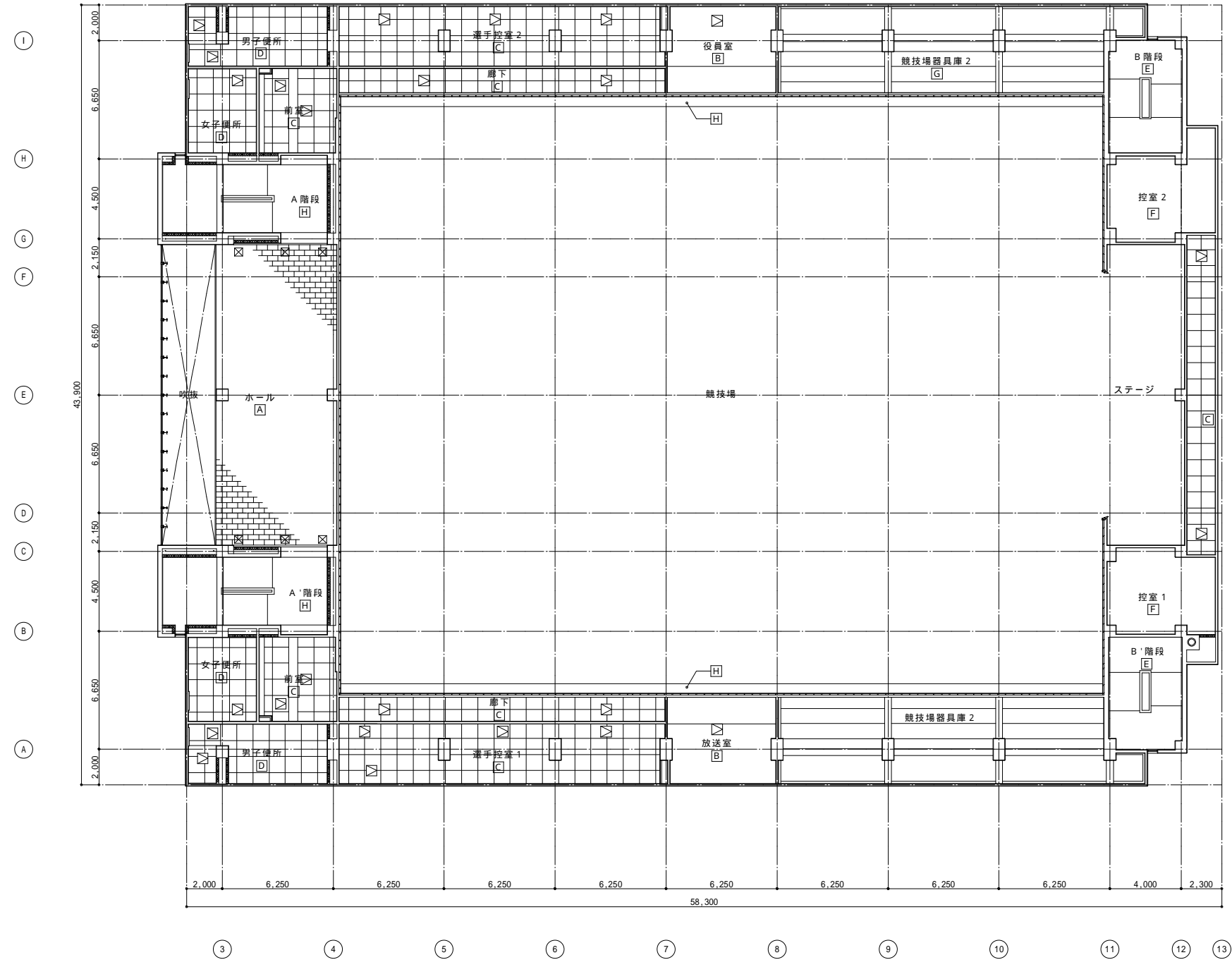
開口補強			
室名	サイズ	数量	
多目的室	4方向カセット (空調)	900x900	2
"	天井扇	315x315	1
"	給排気グリル (吸込口)	150x150	1
"	天井点検口	450x450	2
"	照明	150x150	2
"	"	560x560	13
玄関ホール	4方向カセット (空調)	900x900	4
"	天井点検口	450x450	7
"	天井点検口	600x600	2
"	照明	150x150	82
廊下	2方向カセット (空調)	1245x640	9
"	天井点検口	450x450	16
"	天井点検口	600x600	4
管理事務室	天井点検口	450x450	1
"	天井点検口	600x600	2
"	照明	1250x230	6
通路 (B階段)	天井点検口	600x600	2
男子更衣室	1方向カセット (空調)	1140x618	1
女子更衣室	1方向カセット (空調)	1140x618	1
トレーニング室	照明	150x150	8

1階天井伏図

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】1階天井伏図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1: 1/150 A3: 1/300	図面番号	A-22
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



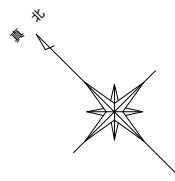
改修箇所なし



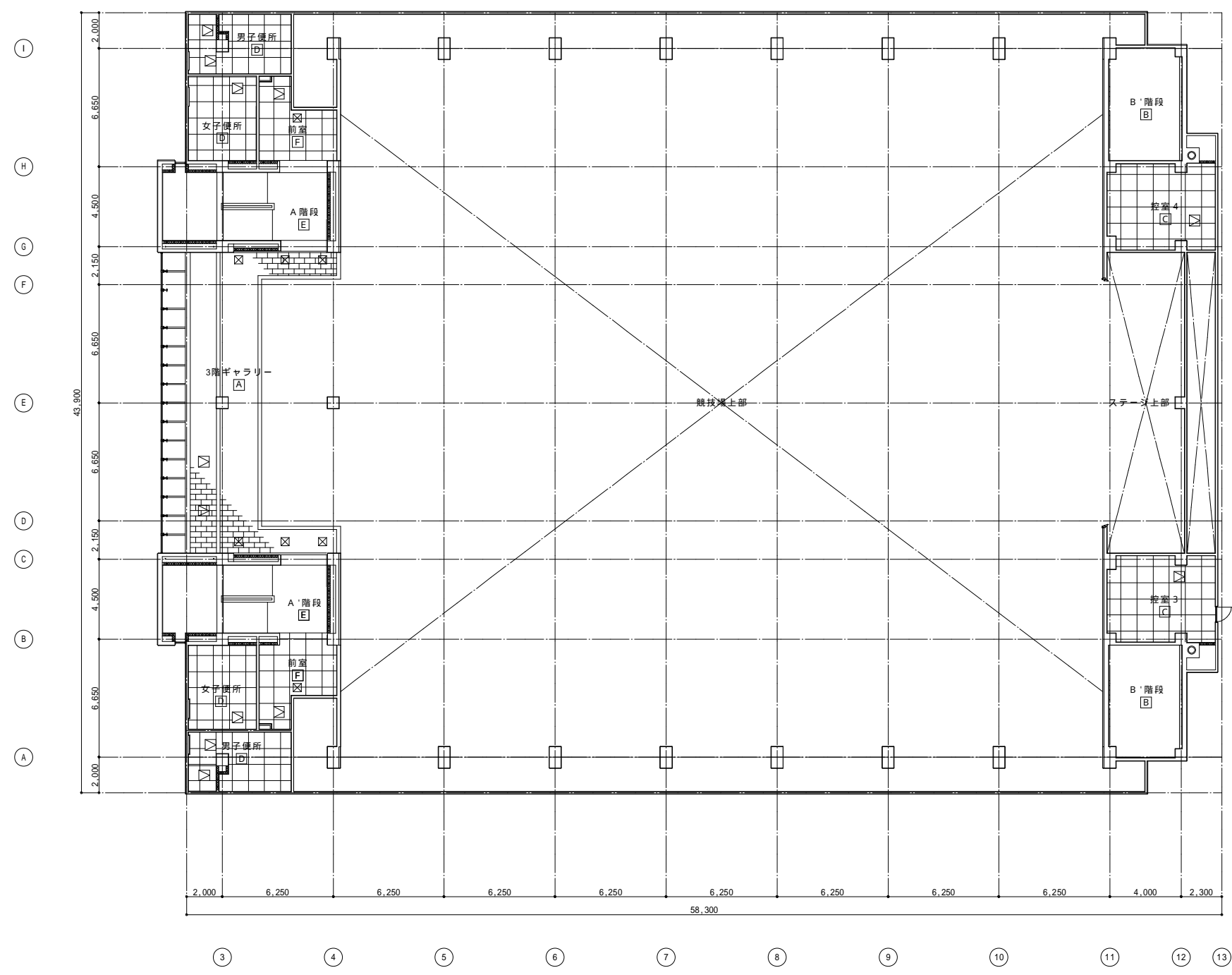
2階天井伏図

[A]	石膏ボード t9.5+ロックウール化粧吸音板 t12
[B]	石膏ボード t9.5+ロックウール化粧吸音板 t19
[C]	化粧石膏ボード t9.5
[D]	ケイカル板 t6 EP
[E]	モルタル塗 VP
[F]	打放しの上スプレーテックス吹付
[G]	打放しの上色セメント吹付
[H]	モルタル塗 吹付タイル
☒	天井点検口600x600
☒	天井点検口450x450

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】2階天井伏図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	A-23
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



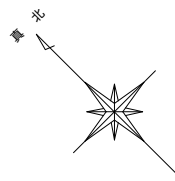
改修箇所なし



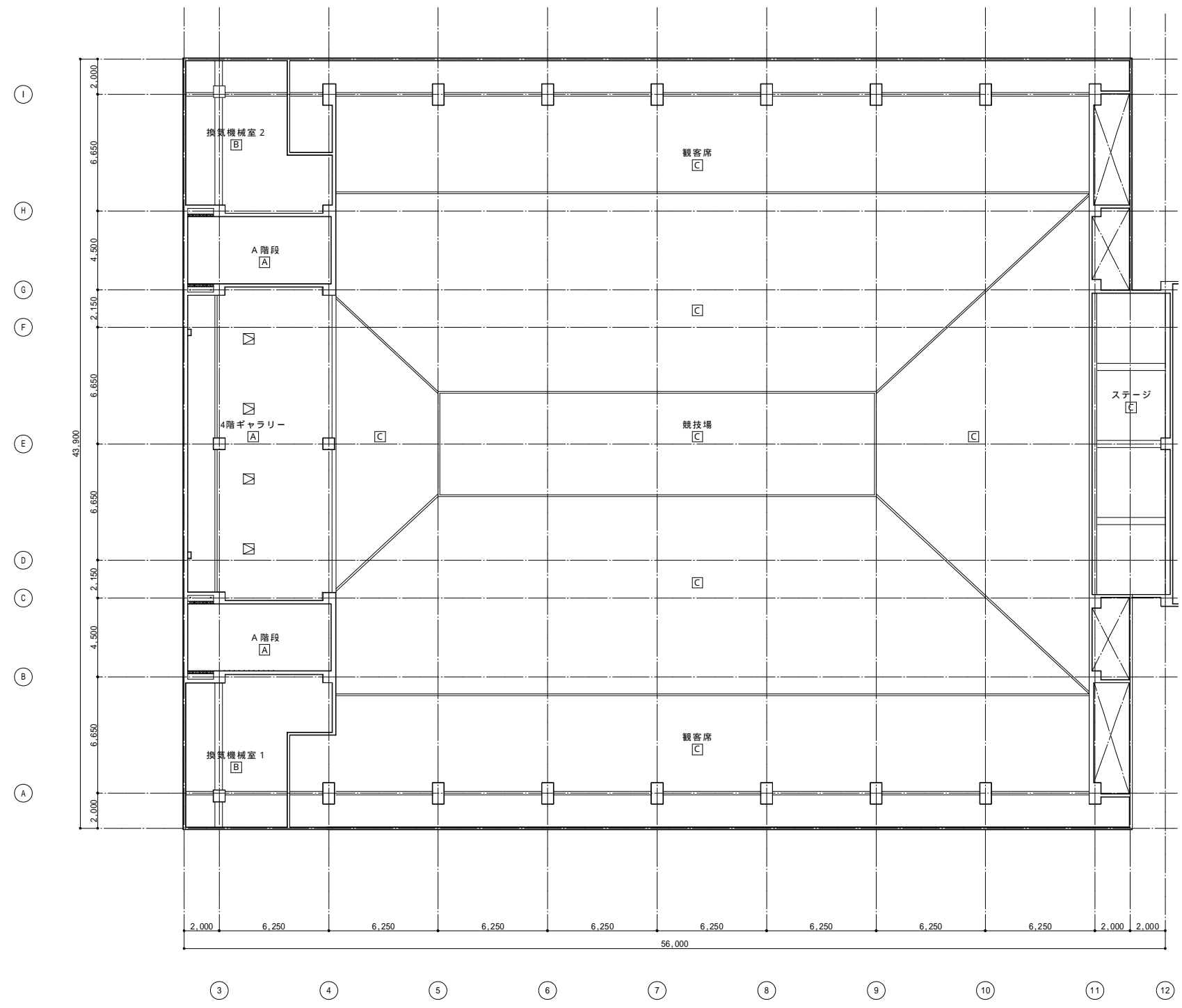
3階天井伏図

[A]	石膏ボード t9.5+ロックウール化粧吸音板 t12
[B]	不燃ボード t9
[C]	石膏ボード t9.5 EP
[D]	ケイカル板 t6 EP
[E]	モルタル塗 VP
[F]	化粧石膏ボード t9.5
☒	天井点検口 600x600
☒	天井点検口 450x450

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】3階天井伏図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1: 1/150 A3: 1/300	図面番号	A-24
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



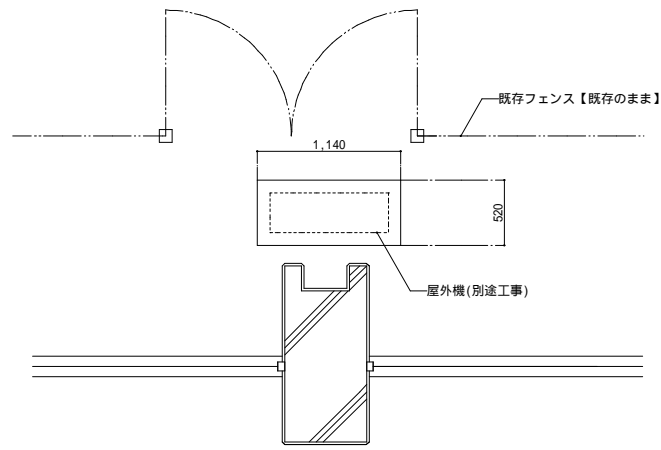
改修箇所なし



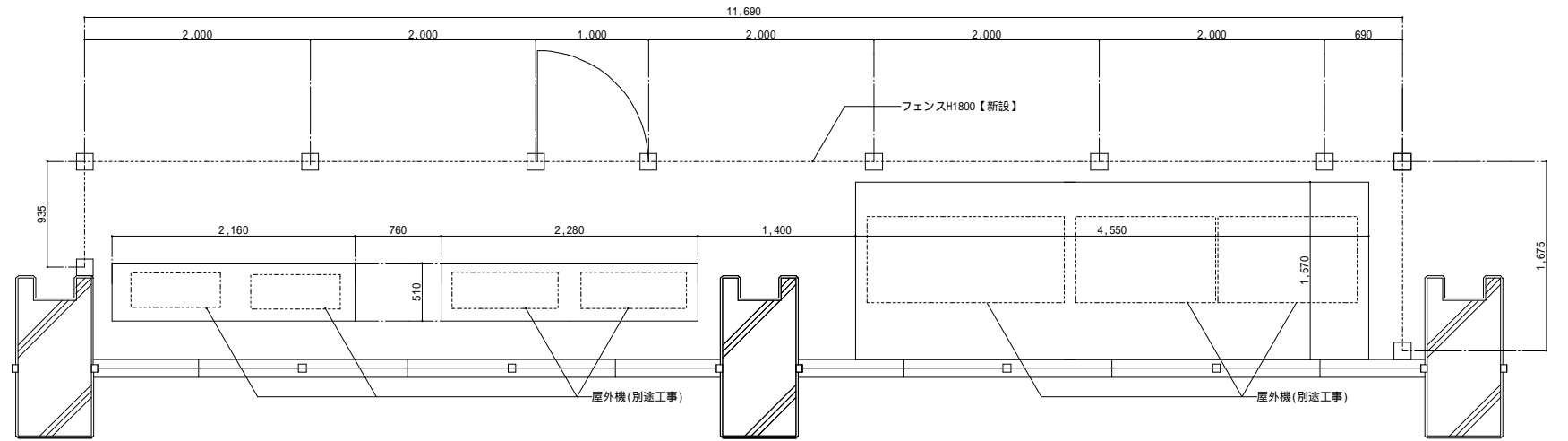
4階天井伏図

[A]	石膏ボード t9.5+ ロックワール化粧吸音板 t9
[B]	打放しの上 グラスワールボード 32k t150
[C]	グラスワール化粧断熱材 t25
[D]	天井点検口 600x600
[E]	改修範囲

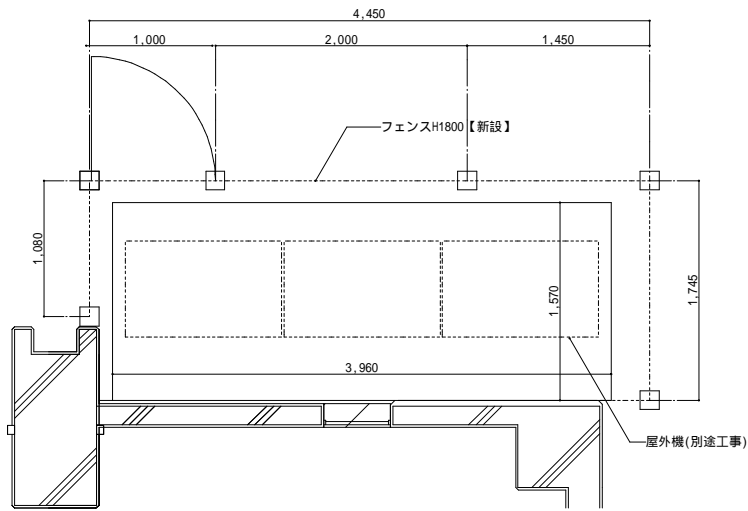
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	【改修前・改修後】4階天井伏図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1: 1/150 A3: 1/300	図面番号	A-25
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



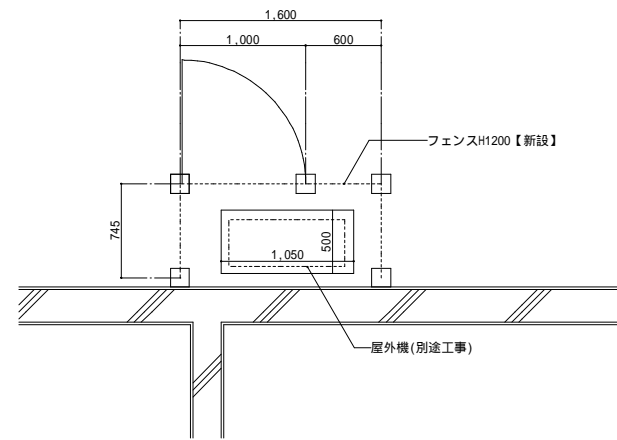
【新設】A：基礎詳細図 S=1:60



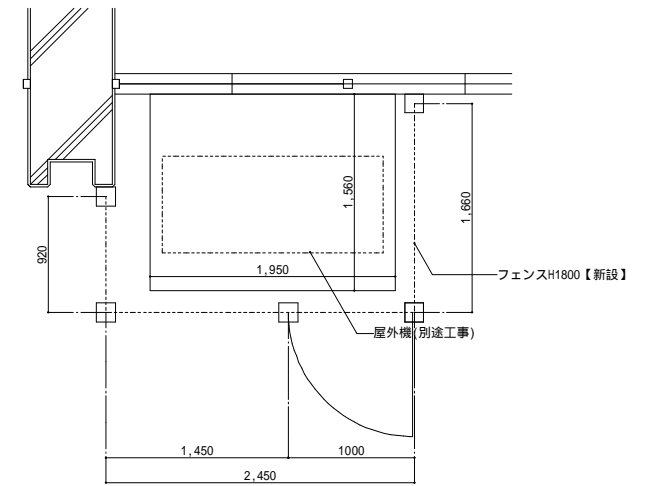
【新設】B：基礎詳細図 S=1:60



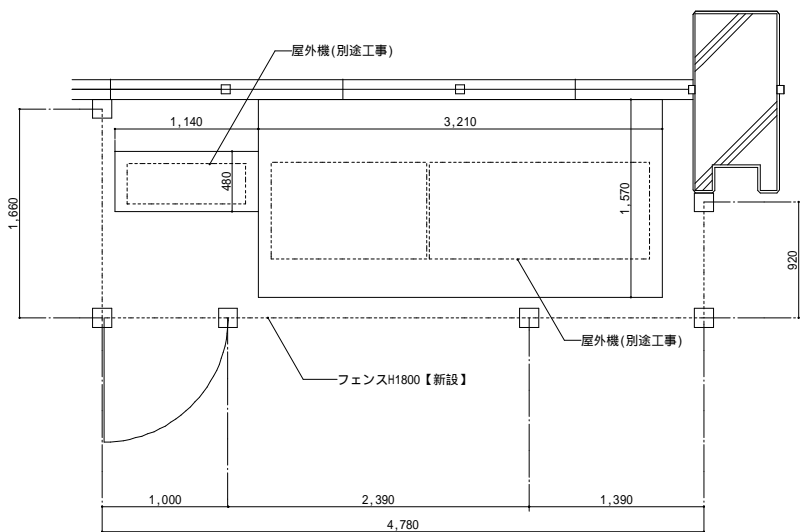
【新設】C：基礎詳細図 S=1:60



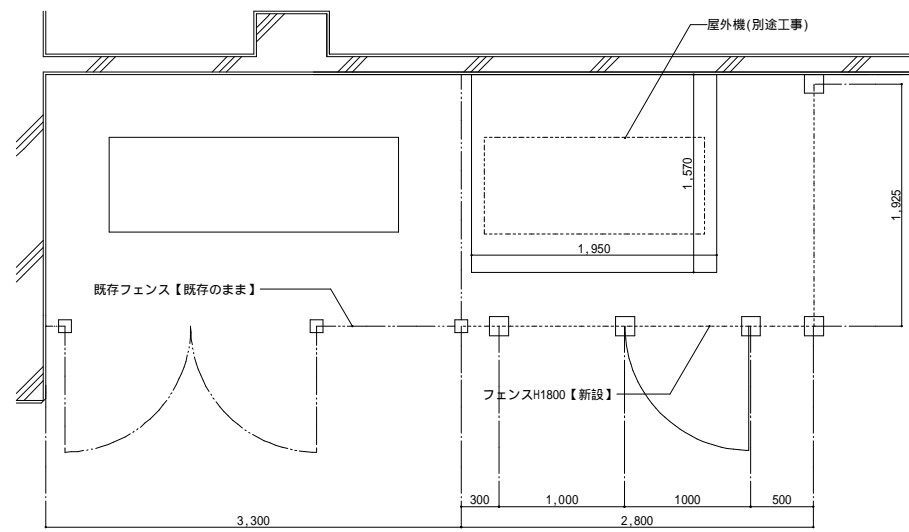
【新設】D：基礎詳細図 S=1:60



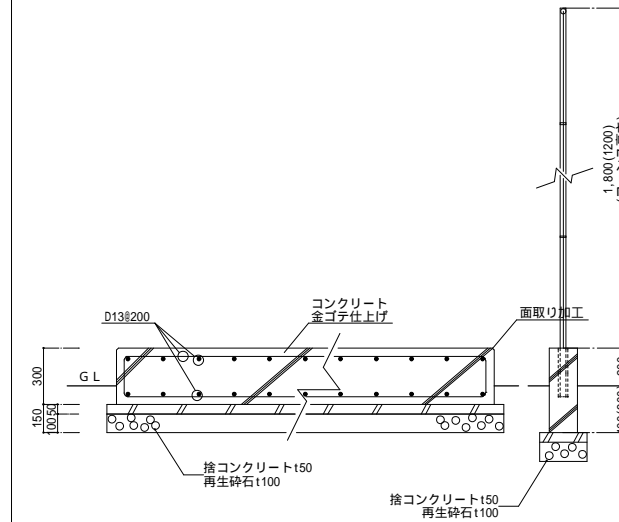
【新設】E：基礎詳細図 S=1:60



【新設】F：基礎詳細図 S=1:60



【新設】G：基礎詳細図 S=1:60



【新設】基礎断面図 S=1:40

使用材料
 ・コンクリート：F_c=21Nmm² (スラブ値=18)
 捨コンクリート：F_c=18Nmm² (スラブ値=15)
 ・鉄筋：SD295A

積水樹脂株式会社 メッシュフェンスG0 Series
 H1200、H1800 同等品
 独立基礎：180×180×450
 積水樹脂株式会社 メッシュフェンスG0門扉(片開)
 H1200、H1800 同等品
 独立基礎：300×300×500(H1200)
 300×300×600(H1800)

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	雑詳細図-1		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/20・30 A3:1/40・60	図面番号	A-26
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



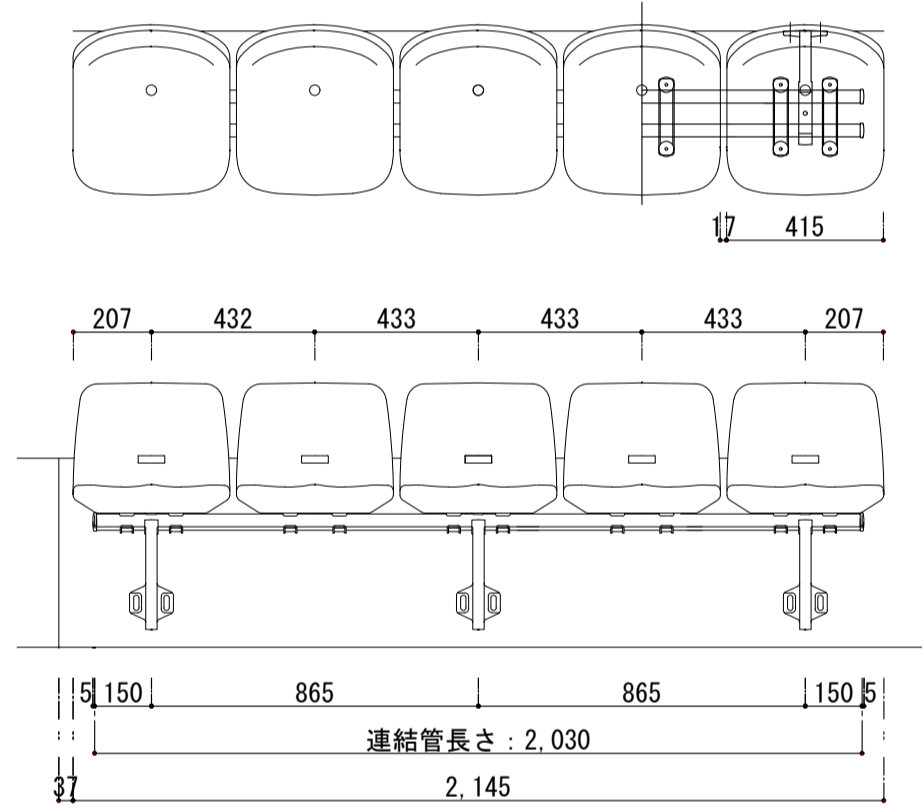
配置図 S=1:200

※新規の12人掛け+5人掛け以外の席は
 全て上台BLM-1500+新造ブラケットに交換。
 クランプ、連結管、脚などは既存品を再利用する。

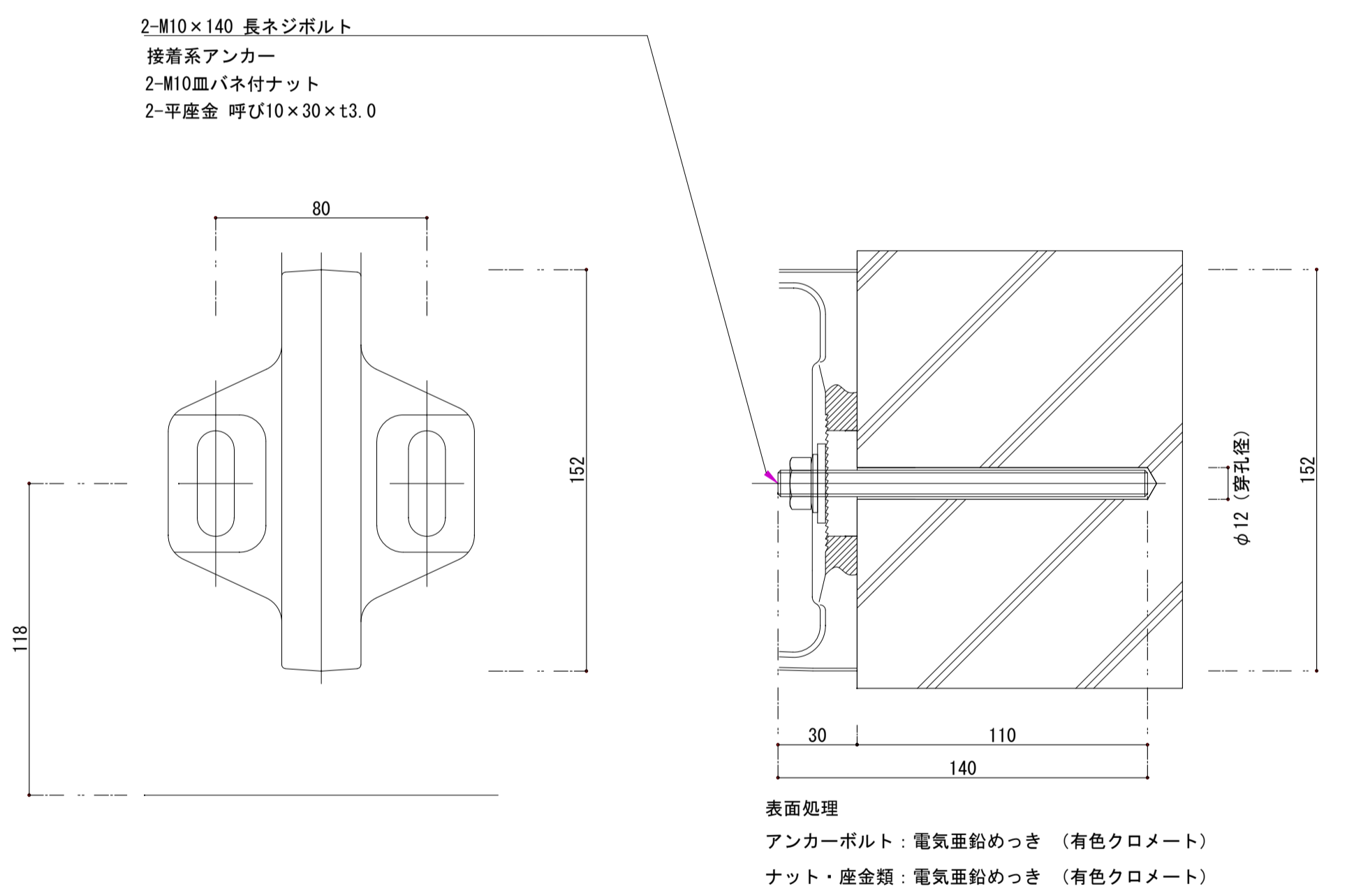
BLM-1508 (新規)

上台	高密度ポリエチレン プロー成形品 水抜き穴付
上台色	KB規格色
連結材	φ34×t3.2鋼管 亜鉛めっき 透明被膜付
	ブラケット、クランプt3.2 鋼板プレス 溶融亜鉛めっき仕上
脚	アルミ合金ダイキャスト 屋外用合成樹脂焼付塗装 KC-230
	床に固定
列番・席番	：無
数量	：12人掛けx1台、5人掛けx1台、上台+新造ブラケットのみx615台

※プロロー成型製品は、その製品の特長により伸縮があり、図中記入の寸法公差が発生します。

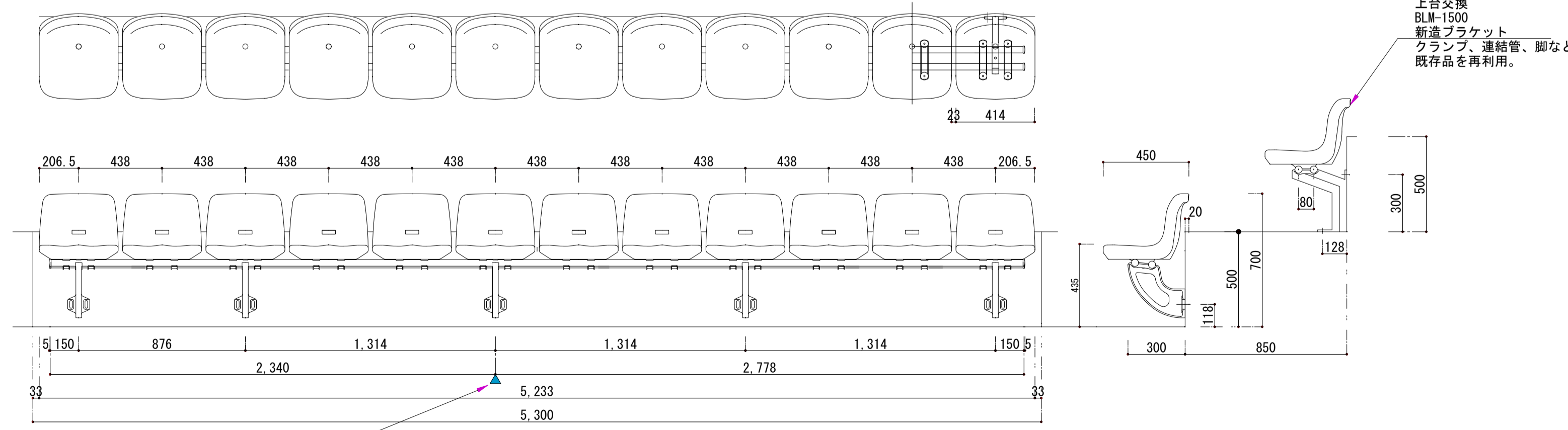


5人席姿図 S=1:40



表面処理
 アンカーボルト：電気亜鉛めっき (有色クロメート)
 ナット・座金類：電気亜鉛めっき (有色クロメート)

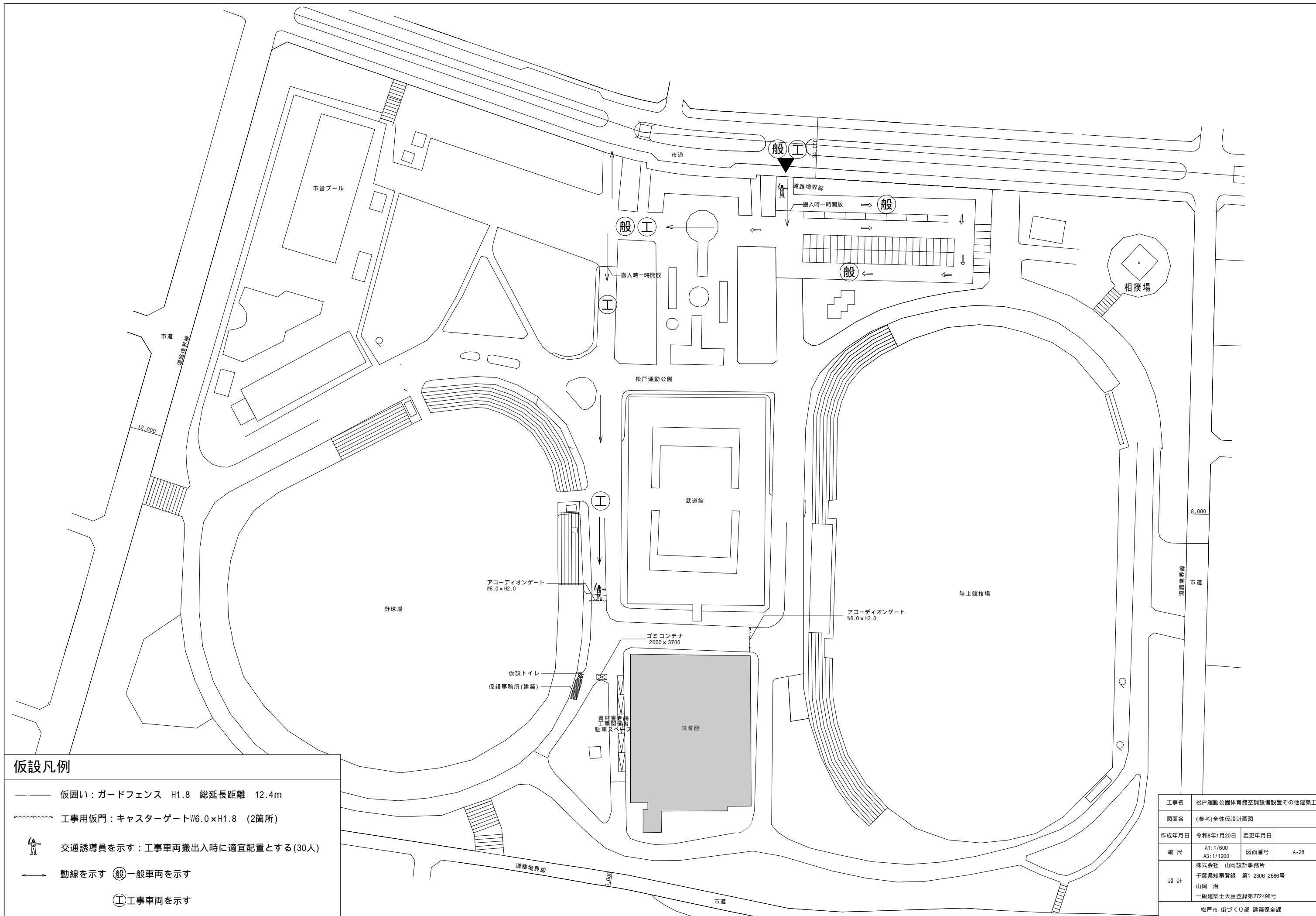
コンクリート床取付詳細図 S=1:4




上台交換
 BLM-1500
 新造ブラケット
 クランプ、連結管、脚など
 既存品を再利用。

12人席姿図 S=1:40

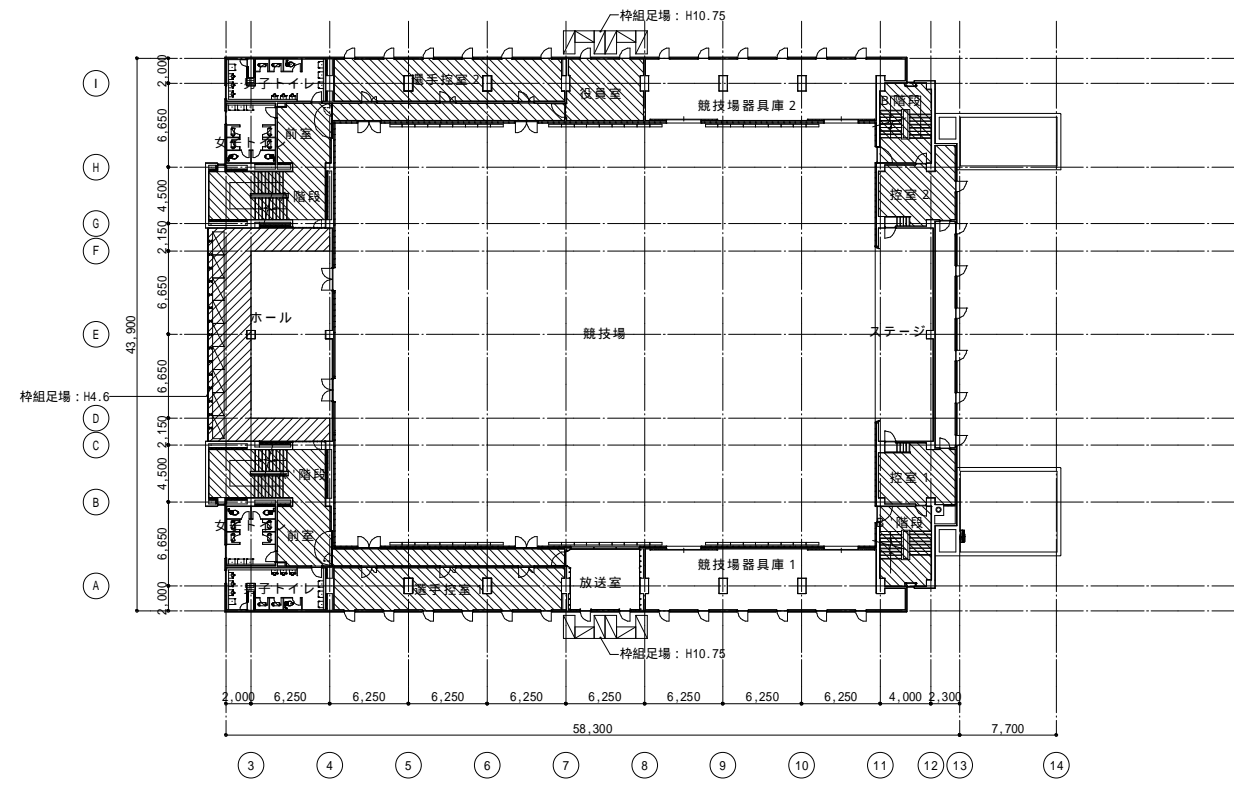
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	雑詳細図-2		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/2・20・100 A3:1/4・40・200	図面番号	A-27
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



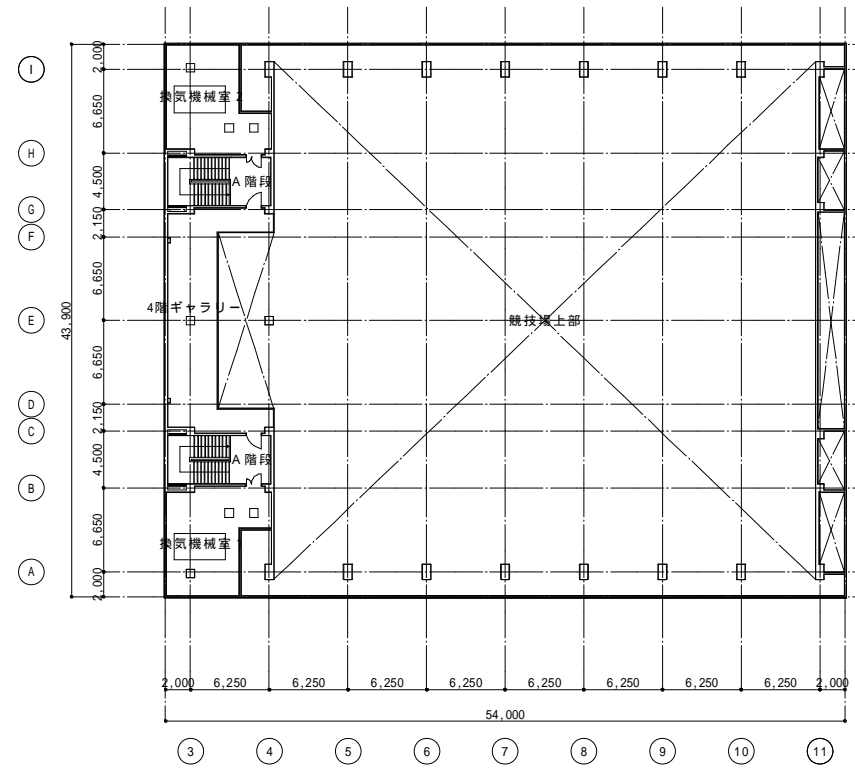
仮設凡例

- 仮囲い：ガードフェンス H1.8 総延長距離 12.4m
- ~~~~ 工所用仮門：キャスターゲートW6.0×H1.8 (2箇所)
-  交通誘導員を示す：工事車両搬出入時に適宜配置とする(30人)
- ← 動線を示す (般)一般車両を示す
- Ⓜ 工事車両を示す

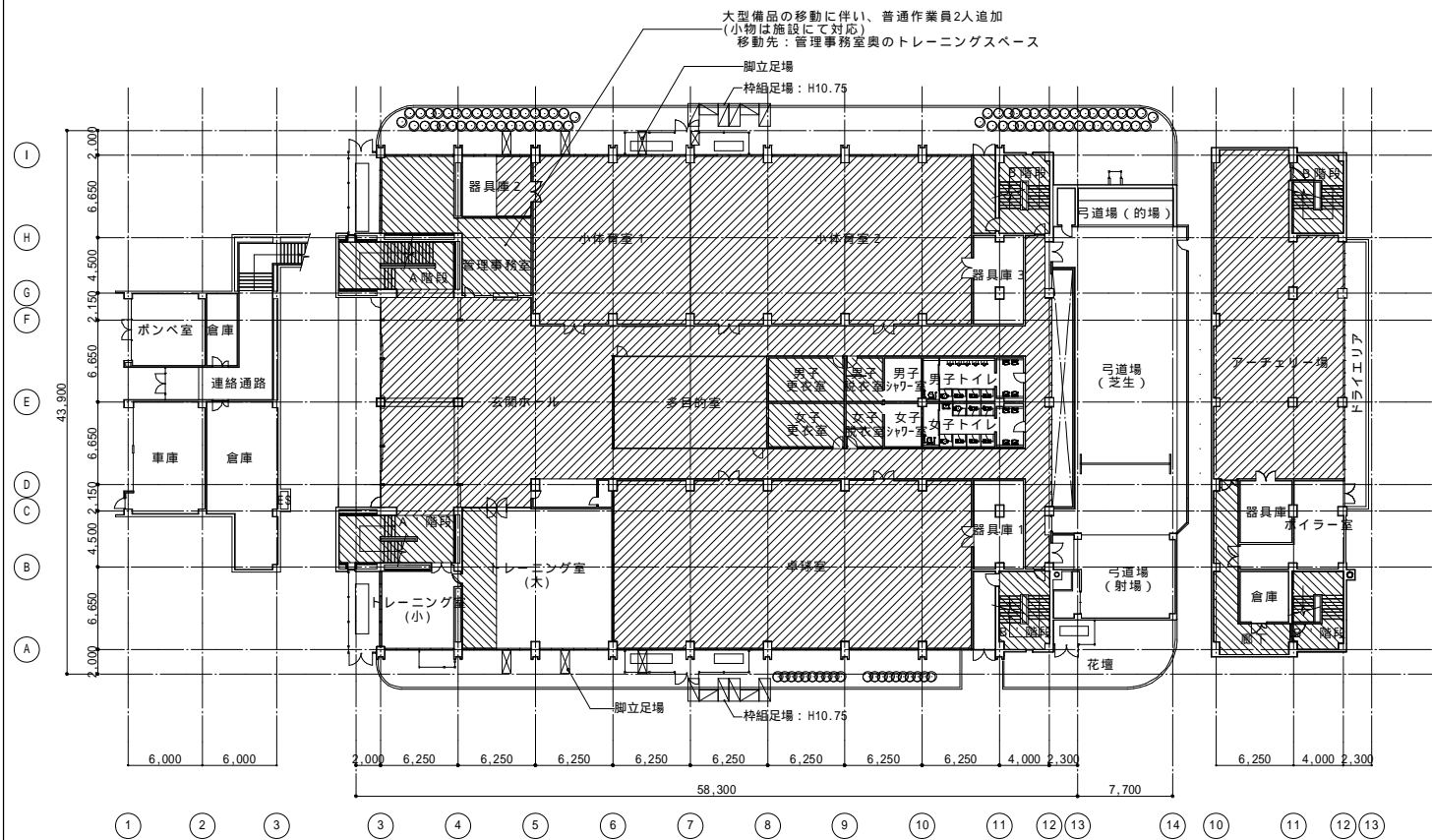
工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	(参考)全体仮設計画図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/600 A3:1/1200	図面番号	A-28
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



2階平面図



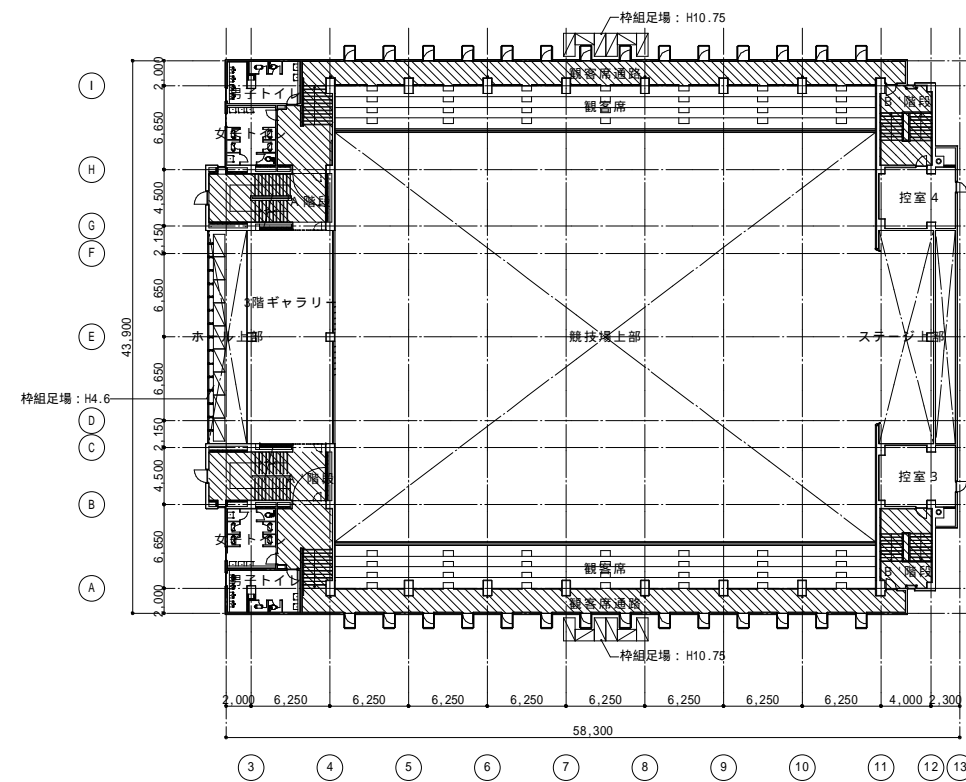
4階平面図



B 1階平面図

1階平面図

B 1階平面図



3階平面図

仮設凡例	
	足場：手摺先行枠組本足場（幅900） 養生：ネット状養生
	施工箇所、搬入路床： 合板+ビニールシート張養生
	施工箇所、搬入路床： ビニールシート張養生

工事名	松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事		
図面名	(参考)各階仮設計画図		
作成年月日	令和8年1月20日	変更年月日	
縮尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	A-29
設計	株式会社 山岡設計事務所 千葉県知事登録 第1-2306-2686号 山岡 治 一級建築士大臣登録第272498号		
松戸市 街づくり部 建築保全課			

現場説明書

1. 工事名称 松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事
2. 工事場所 松戸市上本郷4 4 3 4 番地
3. 説明事項

<一般事項>

- ・ 関連法規を遵守し、安全第一にて、工事中の事故防止に努めること。
- ・ 騒音、振動・粉じん等が発生する作業を行う際は、周辺への配慮を怠らないこと。
- ・ 工事期間中は、現場内の整理整頓及び敷地周辺環境維持に留意すること。
- ・ 関係官公署への届出は、契約後、速やかに行うこと。
- ・ 別途、設備工事が発注されるため、工程調整・仮設計画等、業者間の連絡を密に行うこと。

<工程管理について>

- ・ 工事期間中に選挙(11月予定)を体育館で行うため、選挙日前後5日間(あわせて11日間)は作業不可とする。また、施工で使用する材料(仮設材等を含む)は、選挙活動影響範囲(主として地上階)外に整理整頓の上、残置すること。

<仮設計画について>

- ・ 材料搬出入時等は交通誘導員を適宜配置し、安全管理に努めること。

<その他>

- ・ 松戸運動公園は工事期間中も体育館以外は通常稼働している。野球場や陸上競技場では大会等の開催もあり、公園利用者も多いことから、安全性については十分留意し、その利用を妨げることがないようにすること。
- ・ 工事期間中、松戸運動公園では下水道整備課発注の工事による大型車両の通行や七草マラソン大会が実施されることから、公園内の敷地利用については十分に留意し必ず関係各所と協議を行うこと。

<週休2日制適用工事について>

- ・ 本工事は、通期の週休2日工事(発注者指定方式)である。
- ・ 受注者は、現場閉所(休息)による週休2日工事として取り組むこと。
なお、予定価格には通期の4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・ 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

<注意事項>

- ・ 提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
- ・ 検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》 (2025.7)

1. 工事名称 松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事

2. 工事場所 松戸市上本郷4434番地

3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 9年 3月 19日 まで

4. CADデータの貸与 有 無

- ※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。
- ※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。
- ※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。
- ※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事实績情報(工事カルテ)の登録 (受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ) ※契約額が500万円以上(契約後10日以内に登録) 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	□電気保安技術者通知書 (資格者証の写し) 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出(下請契約がない場合不要)】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	■定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	■発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第38条	
	■現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■ 1 工事記録写真	写真帳	1		
	■ 2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CD もしくは DVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CD もしくは DVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	□引渡し関係 □1 予備品等引渡通知書（リスト共） □2 キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料	原則、 CD もしくは DVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	■ 1 建築物等の利用に関する説明書		2		
	■ 2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む）		2		
□ 3 機器性能試験成績書		1			
□ 4 官公署届出書類		1			
□ 5 総合試運転報告書		1	電1.7.3		
□ 6 総合試運転調整報告書		1	機1.7.3		

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2025.7)

1. 工事名称 松戸運動公園体育館空調設備設置その他建築工事
2. 工事場所 松戸市上本郷4434番地
3. 工期 令和8年 月 日 から 令和9年3月19日 まで

標仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版
 改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備考
1	検査		
	■1 品質管理検査(必要に応じて)	標仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■2 材料の検査(承諾済は除く)	標仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■3 施工の検査等	標仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□4 敷地の状況確認及び縄張り	標仕 2. 2.1	
	□5 ベンチマーク	標仕 2. 2.2	
	□6 遣方	標仕 2. 2.3	
	□7 根切り	標仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバース工法、オルケーシング工法)	標仕 4. 5.5	
	■9 配筋検査	標仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□10 コンクリート打ち込み後補修	標仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□11 高力ボルト締付確認の記録	標仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□12 鉄骨建方	標仕 7.10.5	
	□13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	□15 防水層の施工	標仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	□17 部分使用		
	□18 出来高		
2	立会い		
	■1 材料の検査に伴う試験	標仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■2 監督職員の指示による立会い	標仕 1. 5.8 改標仕 1. 7.8	
	□3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	